

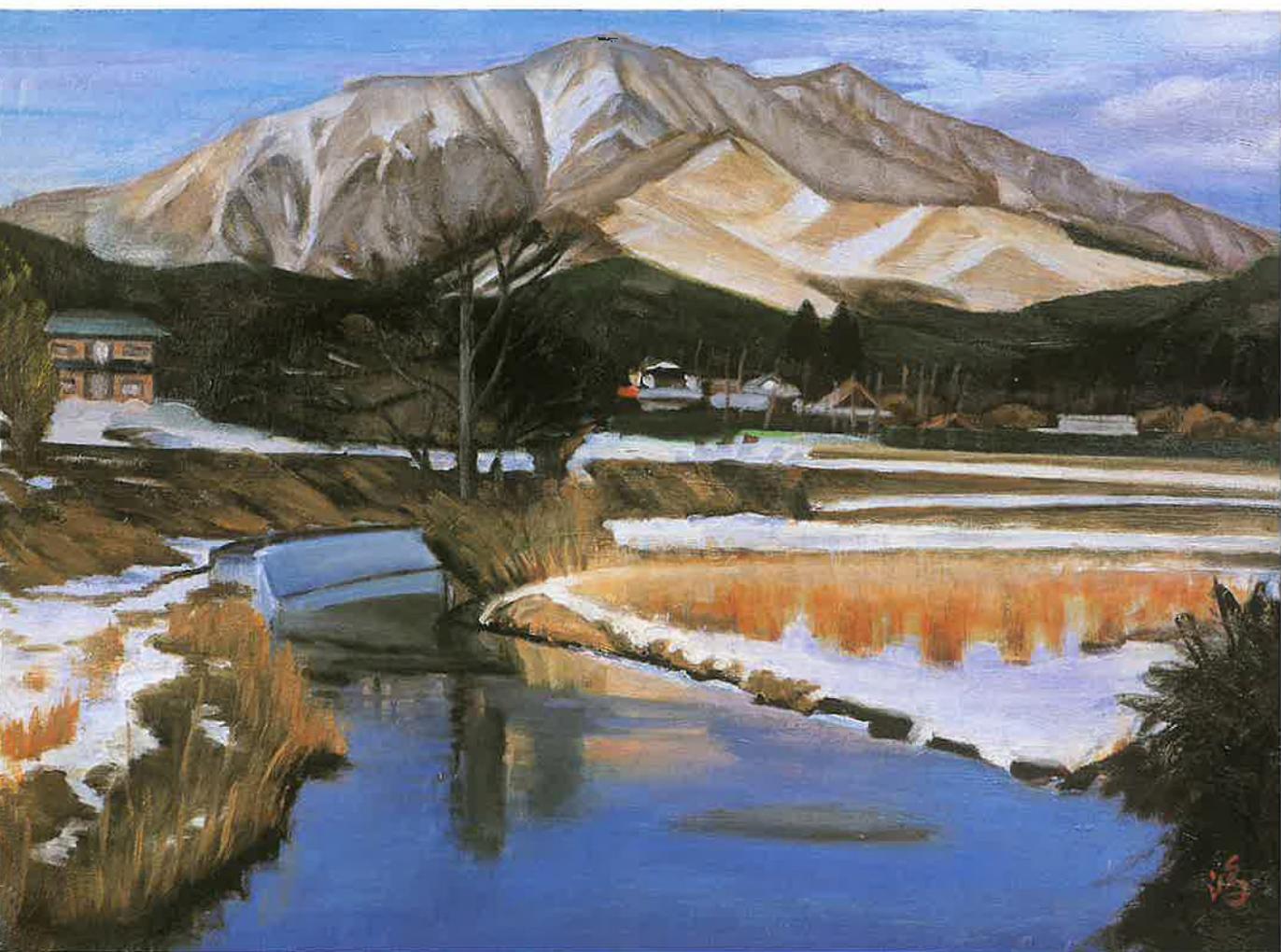
学校法人 片柳学園

日本工学院専門学校 校友会誌

発行・平成18年8月31日

No.42

如來丸



表紙のことは



初春の忍野村風景



創立者・学園長・理事長
校友会名誉顧問

片柳 鴻

忍野村の雪の風景を描いた作品です。

私は昭和35年以來30年間、山中湖の別荘の住民として長い間住んでおりました。平成2年2月に初めて冬の季節に、やむなくの仕事の都合で行くことになりました。山中湖平野村に参りまして、用事を済ませた後、帰り道に冬の忍野村の雪景色を見ようと立ち寄り、この絵画の場所に出て、橋の上に立ちましたところ、初めて見る忍野の雪景色は、夏の緑一色とは全く違った雰囲気を感じ出す見事な雪の光景でした。その様子にすっかり心を奪われ、筆を執った次第です。因みに昭和40年以前の山中湖は冬季には寒さも厳しく、湖水が全面凍結して氷上にテントを張り、鮎釣りを楽しむ沢山の人で賑わい、冬の季節も夏と同じ位の人出がありました。現在では地球温暖化の為か湖水の凍結は見られず、土産物等の商店街は冬は閉鎖され町はシャッターが下りて寂しい通りとなってしまいました。

目次

表紙のことは 名誉顧問 片柳 鴻	表 2	卓球部/バスケットボール部/音楽部/雑誌部/ミュージックバンド同好会	25
ごあいさつ 校友会会長 桂田 忠明	1	電算ソフト部/放送制作研究部/写真部/無線部/ユースホテル研究部	26
ごあいさつ 日本工学院専門学校 学校長 千葉 茂	2	主なクラブ試合成績	27
校友会だより		日本工学院ニュース	28
第17回通常総会報告	3	キャリアサポートセンターからの報告	28
平成17年度支部会員の集い	4	「校友会ドットねっと」をよろしく	29
北海道支部/青森県支部	4	平成18年 教職員の退職者報告	30
宮城県支部/秋田県支部	5	平成17年度卒業式	32
山形県支部/茨城県支部	6	平成18年度入学式	32
首都圏支部	7	第40回かまた祭	33
新潟支部/富山県支部	8	第37回体育祭	33
石川県支部/長野県支部	9	写真でみる校舎の変遷	34
静岡県支部/三重県支部	10	蒲田校 学科の変遷	36
京・滋支部/岡山県支部	11	平成18年度 かまた祭のお知らせ	40
山口県支部/大分県支部	12	かまた祭 講演会のお知らせ	40
鹿児島県支部/沖縄県支部	13	会員近況メッセージ お元気ですか	41
韓国支部	14	校友・交遊 集まっています	46
平成18年度支部事業 支部会員の集い開催予定	14	現役学生たちの活躍	48
かまた芸術学部8学科の“今昔”	15	OB推薦制度が発足	49
クラブ顧問からのメッセージ	23	「起業家人材育成について」講演のお知らせ	49
テニス部/バレーボール部/スノースポーツ部/空手道部/少林寺拳法部	23	かまた題字作家紹介	50
バドミントン部/野球部/サッカー部/剣道部/ゴルフ部	24	個人情報保護についての取組み	50
		東京工科大学ビジネススクールアントレプレナー専攻	55

校友会誌 「かまたNo.42」に寄せて



校友会会長 **桂田 忠明**

放送技術部 36年卒業
セントラル電子制御株式会社 代表取締役

本校は、創立来永きに亘り、各分野に有為な人材を輩出し続け、各界で大勢の方々をご活躍されております。そして、今や日本有数の専門学校として、その伝統・歴史・実績を誇っております。また、本校は常に時代を先取りした学部・学科構成をとり、発展し続けていることは皆さんもご承知のことと思います。これも偏に、創立者・片柳鴻理事長をはじめとする、諸先生方のご努力や校友会会員の皆様の本校を思う情熱のお陰であると感じております。

校友会も、海外を含め全国各地で独自の親睦あるいは研修活動を展開しております。そうした活発な活動の一助とすべく、学校当局ならびに校友会有志の方々に支えられ、この「かまた誌」と共に、校友会のホームページで最新かつ有意義な情報を提供するよう努めております。校友会会員の情報交換の場として、是非ご活用頂きたいと思っております。

また、校友会活動は、会員相互の親睦、研修のみならず、本校の発展に協力することも大きな柱となっております。我国の急激な小子化のなか、ますます学生数が減少いたします。こうした折、校友会としても本校の発展に向け、より一層の協力を進めてまいりたいと考えております。平成17年4月に設置された東京工科大学大学院アントンプレナー専攻は、蒲田の地で仕事と両立させながら学ぶ環境を提供するもので、本専門学校卒業生には入学金割引優遇制度が設けられており、既に多数の卒業生が学習されています。起業家を目指している会員の皆様にお勧めいたします。また、平成18年度からは「OB推薦制度」も実施されています。本校が設けている学部・学科方面への進学を希望されている子女・兄弟姉妹・お孫さん等がいらっしゃいましたら、積極的にご推薦ください。

さて、来年の平成19年に本校は創立60周年を迎えます。この節目に当たって、会員ならびに役員の皆様と協議し、校友会として相応しいイベントを計画、創立60周年の記念事業として是非とも成功させたいと考えております。全国各地でご活躍の校友会会員の皆様からのご提案・ご協力・ご支援を切にお願い致します。

校友会誌「かまたNo.42」に寄せて



学校長 千葉 茂

校友会会員の皆様、こんにちは。

日本工学院専門学校は昨年・一昨年と教職員が一丸となって9項目からなるマニフェストを掲げ、実行し、「学生第一主義」に尽力して参りました。その結果、多くの成果が生まれ実績を残すことが出来ましたことをご報告致します。

例を挙げますと、総合アニメーション科の学生におきましては、在籍中に漫画家デビューを果たし、総合ミュージック科の学生も卒業と同時にクリスタル・Kに楽曲を提供し、その作品がTBSドラマの主題歌として採用されました。また、電気工学科の学生は2年間に30個もの資格を取得して、卒業式には特別賞としてその努力を称えました。資格に関して申しますと、取得数は工学部全体で昨年の1.7倍の延べ1,700個に上りました。

2007年の大学全入学時代の到来、恒常的な18歳人口の減少、我々、専門学校業界を取り巻く環境は非常に厳しくなっております。先に申し上げました成果・実績に甘んずることなく、更に更に新しいこと、日本工学院ならではの独自性のあることをしていかななくてはなりません。そこで来年度からの新たな構想としてカレッジ制についてお話しさせていただきます。

現在の工学部、情報学部、芸術学部、医療学部の4学部65学科を、テクノロジーカレッジ、ITカレッジ、クリエイターズカレッジ、ミュージックカレッジ、医療カレッジ、スポーツカレッジからなる6カレッジに改変し112の仕事に対応出来るシステムに致します。カレッジ制にすることで各学科の特色を全面に打ち出して参ります。さらに今まで学校全体で考えられていた問題点も各カレッジに分割することにより、解決に向かって一層のスピードアップ化が期待出来ます。また、就職や更なる進学に向けてはそれぞれのカレッジが情報を共有化し、学生への強力なバックアップ体制をとっていきます。

会員の皆様にはこれからもご指導、ご鞭撻賜れましたら幸いに存じますと共に益々のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。

第17回

通常総会報告

日時 平成18年6月10日(土)15:00~16:30

於 日本工学院専門学校
マルチメディアホール
(3号館1階)

出席 39支部

委任状 3支部(青森、近畿、台湾)

挨拶 桂田 忠明 会長
片柳 鴻 名誉顧問
千葉 茂 学校長



通常総会は、会員で本校講師でもある相沢早苗さんの総合司会と、本田英喜宮崎県支部長の議事進行により、桂田忠明会長、片柳 鴻名誉顧問、千葉 茂学校長の挨拶につづき、議案審議がなされ7つの議案のすべてが承認されました。

理事長から建設中の医療カレッジ専用新校舎と60年間の教育の集大成としての蒲田キャンパスの将来構想などの説明、学校長から会員約18万人の業績が母校の発展に大きく寄与していること、および、専門学校的一条校化に向けての取り組みなどの紹介がありました。

次回第18回通常総会を、平成19年6月9日(土)と決めました。

通常総会終了後は、8号館カフェテリアにおいて、懇親会が学校関係者を交えて終始なごやかな雰囲気で行われました。

総会次第

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 名誉顧問挨拶
4. 学校長挨拶
5. 議長、副議長および議事録署名人(2名)の選出
6. 議案審議
 - 第1号議案 平成17年度事業報告
 - 第2号議案 平成17年度収支決算報告および監査報告
 - 第3号議案 平成18年度事業計画案
 - 第4号議案 平成18年度予算案
 - 第5号議案 校友会会則の改正について
 - 第6号議案 役員の変更について
 - 第7号議案 その他
7. 議長、副議長の解任
8. 閉 会



平成17年度収支決算報告

(平成17年4月1日~平成18年3月31日)

収入の部		支出の部	
科 目	金額(円)	科 目	金額(円)
前期繰越	243,100,512	会誌「かまた」等制作費	11,595,895
校友会会費	32,856,000	総会諸費用	1,668,795
会誌「かまた」広告料	520,000	地区支部長会議諸経費	2,250,420
受取利息	360,120	支部事業費	3,823,331
懇親会補助費(会費徴収分)	144,000	校友会ウェブサイト経費	1,782,203
		事務管理費	593,827
		人件費	1,401,350
収入の部計	276,980,632	支出の部計	23,115,821
		次年度繰越	253,864,811

平成18年度予算書

収入の部		支出の部	
科 目	金額(円)	科 目	金額(円)
前期繰越	253,864,811	会誌「かまた」等制作費	11,120,000
校友会会費	36,000,000	総会諸費用	1,860,000
会誌「かまた」広告料	500,000	地区支部長会議諸経費	2,500,000
受取利息	300,000	支部事業費	4,000,000
		校友会ウェブサイト経費	2,300,000
		事務管理費	750,000
		人件費	4,500,000
収入の部計	290,664,811	支出の部計	27,030,000
		次年度繰越	263,634,811

平成17年度 支部会員の 集い

平成17年度支部総会・懇親会は、全国で約200人が集い、さまざまな趣向で開催されました。自己紹介、近況報告、役員の変更、懇親会での情報交換など、各支部とも有意義で実りある会合内容が報告されています。旧友との久々の再会となる懇親会では懐かしい思い出話にも花が咲き、和やかで充実した歓談のひとつときがもたれました。今後も世代をこえた地元校友とのネットワークづくりに、皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。

北海道支部

■設立：昭和63年6月24日

■登録会員：1159名

■支部長：大巻 幸太郎 E-mail hokkaido@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

第9回 北海道支部どさん子の会

開催日：平成17年9月24日(土) 出席者：9名
会場：月のしずく(札幌市)

支部長より役員改選の議題が出され、全員再選の方向で話し合われたが、辞退1名、新任1名となった。

北海道支部では堅苦しくない支部を目指し、会の名称を「支部総会」とせず「どさん子の会」とした。支部長よりその主旨説明があった。

懇親会において参加者を増やすために活発な意見が交わされ、「誰もが気軽に参加できる会にしたい。」「堅苦しいことはしないほうがよい。」「担任の教師が出席しないと参加しないのでは」等の意見がでた。

また、在学時、卒業当時の母校の話題等で終始和やかな雰囲気で会が進んだ。

2年後に再開することを祈念してお開きとした。



出席者：大巻 幸太郎 (S.44卒) / 松浦 立尚 (S.40卒) / 杉田 親 (S.43卒) / 滝沢 祐一 (S.51卒) / 黒瀬 美奈江 (S.56卒) / 徳永 道昭 (S.57卒) / 上村 雅彦 (S.57卒)
【教職員】 猪口 眞美 / 梅崎 幸雄

青森県支部

■設立：昭和63年9月14日

■登録会員：747名

■支部長：野里 和弘 E-mail aomori@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

第9回 青森県支部会員の集い

開催日：平成17年10月7日(金) 出席者：9名
会場：ラ・プラス青い森(青森市)



青森県支部長 野里和弘氏が「新登録制度」・「著作権法」をテーマに講演を行った。講演の内容に合わせ、はがきを使用した手品を披露してくれた。支部長より役員改選の議題が出され、議論されたが全員再任となった。総会に続き、懇親会が行われた。前回に続き、2年ぶりの再会であった。

前回に比べてやや参加が減ったが全員懐かしく、各自の公的および私的な現状報告や社会情勢などを含めた自己紹介があった。

さらに、母校周辺の様変わりなどの話題で終始和やかな雰囲気ですべて進んだ。

また、会員の小河原氏より台湾旅行の裏話があり、さらに会が盛り上がった。次は韓国旅行を計画しているとのことでした。今回は、今回以上の出席者であることを祈念してお開きとした。

出席者：野里 和弘 (S.31卒) / 宮越 英樹 (S.36卒) / 瀧沢 弘幸 (S.36卒) / 小笠原 實 (S.37卒) / 齋藤 敏也 (S.54卒) / 木村 光範 (S.62卒)
【教職員】 佐藤 典明 / 梅崎 幸雄 / 村林 大

宮城県支部

■設立：昭和63年5月20日

■登録会員：567名

■支部長：清水 幸男 E-mail miyagi@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

第9回 宮城県支部会員の集い

開催日：平成17年10月1日（金） 出席者：4名

会場：チャイニーズレストラン「建華園」（仙台市）

支部長より役員改選の議題が出されたが、出席者が少なかったため支部長の意向で全員再選の結果となった。

総会に続き、懇親会が行われた。

前年に続き、1年ぶりの再会ではあったが、4名共に懐かしく各自の公的および私的な現状報告や社会情勢などの話題に花が咲いた。さらに、母校の今昔などの話題で終始和やかな雰囲気では進んだ。

支部長より、「土地の活用法」「家の活用法」「アパートの経営法」などの不動産に関わる話が出て、さらに盛り上がった。それらに関わる新しい知識を得て有意義な時間であった。

また、「如何にしたら支部総会・懇親会への出席者を増やせるのか」の話題も出たが、あまり発展的な意見はなかった。

来年度も再会することを祈念してお開きとした。



出席者：東 光彦（S.37卒）／清水 幸男（S.54卒）
【教職員】梅崎 幸雄／村林 大

秋田県支部

■設立：昭和63年9月12日

■登録会員：735名

■支部長：高橋 伸 E-mail ksymbol@cna.ne.jp又はkoyukai@neec.ac.jp

第9回 秋田県支部会員の集い

開催日：平成17年10月9日（日） 出席者：9名

会場：レストラン・ニューたけや（秋田市）



出席者：高橋 伸（S.42卒）／高橋 由紀夫（S.55卒）／風間 勝巳（S.58卒）
江畑 隆一（H.06卒）／菅原 広徳（H.08卒）
【教職員】佐藤 典明／関 里弥／梅崎 幸雄／村林 大

秋田県副支部長（株）ストレート社長 風間 勝巳氏を講師に「企業興しのすすめ」をテーマに講演がおこなわれた。風間氏の起業に至った経緯、7年目のストレートの現状など、体験をもとに興味深い講演であった。支部長より秋田県支部のホームページの案内、支部のあゆみ、今後の予定等の報告があった。

役員改選の議題が出され、小玉力副支部長が辞任し後任に江畑隆一氏が選出された。

総会に続き、懇親会が行われた。

前回に続き、2年ぶりの再会であった。

会席の順に公的および私的を含めた自己紹介（出身地・家族構成・現状の仕事関連・趣味・将来への希望など）があった。

さらに、母校周辺の様変わりなどの話題で終始和やかな雰囲気では進んだ。

やはり、ここでも「デジタル放送」に関わる話題が出て、将来の放送などの話題で盛り上がった。

次回は、今回以上の出席者であることを祈念してお開きとした。

山形県支部

■設立:昭和63年7月25日

■登録会員:630名

■支部長:柴崎勝 E-mail yamagata@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

第9回 山形県支部会員の集い

開催日:平成17年10月8日(火) 出席者:11名
会場:山形イン(山形市)



支部長より役員改選の議題が出され、議論されたが全員再任となった。

総会に続き、懇親会が行われた。

前回に続き、2年ぶりの再会であった。今回、庄司氏と長谷部氏加わった。全員懐かしく、各自の公的および私的な現状報告・家族構成・将来の夢・定年後のやりたい事などを含めた自己紹介があった。

また、最近話題になっているデジタル放送とアナログ放送の話題が出て、デジタル放送の素晴らしさとその知識を得た。

さらに、母校周辺の様変わりなどの話題で終始和やかな雰囲気会が進んだ。

次回は今回以上の出席者であることを祈念してお開きとした。

出席者:柴崎勝(S.34卒)/鈴木幸雄(S.39卒)/
鈴木正豊(S.48卒)/沼澤与和(S.52卒)/大沼智尋
(S.52卒)/千葉秀行(S.54卒)/庄司一豊(S.60卒)/
長谷部孝(H.05卒)
[教職員]田村一昭/梅崎幸雄/村林大

茨城県支部

■設立:平成1年11月22日

■登録会員:2,709名

■支部長:廣瀬憲治 E-mail ibaragi@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

第9回 茨城県支部会員の集い

開催日:平成17年10月16日(日) 出席者:18名
会場:北のしまだ エクセル店(水戸市)



支部長より役員改選の議題が出され原則として全員再任とするが、欠席者については、辞任扱いとした。新たに田口氏、市毛氏、伊藤氏、熱田氏、西内氏、河上氏の6名が選任された。

総会に続き、同席場で懇親会が行なわれた。出席予定者の2名が欠席されたが、支部長と出席者13名と当日参加の1名と学校法人関係者3名を含めた17名であった。

会場が居酒屋であったこともあり、ざっくばらんな雰囲気盛りが上がった。初めての会員も多いので、顔合わせを兼ねた形式的な自己紹介(氏名・卒業年度・学科・期・現住所など)が名簿順に行なわれた途中で、荻野谷さんが通っている「ハーモニカ教室」での成果(知床旅情)を披露してくれた。生涯教育として、「老人コーラス ベベ」と「ハーモニカ教室」を学んでいるそうです。

また、偶然ではあったが、「北のしまだ」のオーナーが日本工学院専門学校の卒業生であることが分かり、全員から驚嘆の声が上がった。直ちに、オーナー(島田俊男さん)の自己紹介が行なわれた。会は終始和やかな雰囲気進み、名刺交換などで各自それぞれの情報を得ていたようである。

さらに、各自の恩師やクラスメイトの状況など、また、母校周辺の昔と現在の様変わりなどの話題でさらに盛り上がった。

会の終盤に近づいた頃、支部長が次回の企画の材料(資料)にと、各自の趣味を発表させながらメモを取っていた。次回の支部総会・懇親会が楽しみである。

さらに、大抽選会が行なわれ、額に入った水彩画(田口敏夫さん作)10画が当選者にプレゼントされた。とても素人とは思えない作品であるので、市川希一さんが水戸放送局に当地の情報として取り扱って貰うように打診してみるそうです。事務局の2名も見事当選し、記念として机上に置いてあります。次回も多くの出席者であることを願って、最後に全員で集合写真を撮りお開きとした。

出席者:田口敏夫(S.35卒)/村治明久(S.39卒)/市川希一
(S.39卒)/大和田惟雄(S.39卒)/廣瀬憲治(S.47卒)/
弦間晃(S.48卒)/荻野谷末男(S.48卒)/市毛正(S.48卒)/
山崎操(S.51卒)/伊藤秀史(S.54卒)/松井章(S.56卒)/
熱田芳一(S.59卒)/西内浩司(S.61卒)/
松田英明(H.01卒)/河上洋一(S.08卒)
[教職員]海老原幸彦/梅崎幸雄/村林大

新潟県支部

■設立:平成1年10月6日

■登録会員:2,543名

■支部長:植木 敏郎 E-mail nigata@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

第9回 新潟県支部会員の集い

開催日:平成17年10月15日(土) 出席者:18名
会場:ホテルサンシャイン (柏崎市)

支部長より役員改選の議題が出され現在の役員は全員留任とし、新たに池氏、田村氏が幹事として承認された。

総会の後、会場を移して懇親会が行われた。人数が多かったほか、初めて参加される方も多く大変盛り上がった懇親会になった。昭和34年に卒業された鈴木さんが当時の学生の雰囲気、学校の様子などを懐かしみながら話された。

参加者からは様々な経験を経ながら学校に通ったこと、卒業後の苦労話などが披露された。卒業後放送関係の仕事に就いたが、現在は佐渡に戻って整体師をされている池さん。半導体関連の仕事をしている最賀さん、小林(謙)さん。卒業後も環境関係の仕事をしている吉田さん、東條さん、片所さん。

以前から校友会の行事に参加されたいと思っていたが、今回、ご子息が柏崎の大学に通っておられるのを機会として参加された小林(仁)さん。原発関係の仕事をしている田中さん。電気設備の仕事しつつ、研修にも忙しい雪さん。車のメーカーでプログラム開発をしている星さん。松下電器に勤めた後、今は地元のダスキンに勤務する石黒(一)さん。今回紅一点で電気工学科出身だが地元で家電製品の修理・販売をしている樋口さん。電子工学科の夜間で学び、現在も新しい仕事の勉強をされている田村さんは今回の会に参加して様々な分野で活躍されている方々に出会うことが出来たので、参加して本当に良かったと述べられておられた。支部長の植木さんの勤務する会社では環境負荷の少ない製品(熱交換を利用したエコキュート)を売り出しているなどの紹介もされた。富山県支部長の石黒さんは現在、転勤で富山にいないが元々出身が柏崎なので参加したとのこと。このほかに青砥寮・蒲田寮・城南寮



出席者:鈴木 登(S.34卒)/小林 仁(S.49卒)/植木 敏郎(S.50卒)/池 徹(S.53卒)/最賀 一久(S.54卒)/吉田 明道(S.55卒)/星 清美(S.55卒)/東條 義紀(S.59卒)/片所 克徳(S.60卒)/石黒 一博(S.60)/田中 睦男(S.63)/雪 隆行(S.63)/田村 準(H.01)/小林 謙一郎(H.04)/樋口 美和(H.09)
[富山県支部長]石黒 明 [教職員]山本 捷/猪口 真美

での暮らしぶり、お世話になった舎監や担任の先生、科目担当の先生の思い出や現在の消息など話は尽きなかった。また、昨年起きた中越大地震の事も話題に上がり、被災後の苦労話などもあった。母校の発展を願っておられる皆様に感謝しこの会が会員相互の親睦の場として、情報交換の場として益々発展することを願いつつ次回の再会を期してお開きとした。

富山県支部

■設立:平成5年5月22日

■登録会員:536名

■支部長:石黒 明 E-mail toyama@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

第7回 富山県支部会員の集い

開催日:平成17年9月16日(金) 出席者:11名
会場:富山全日空ホテル (富山市)



支部長より役員改選の議題が出され、全員再選の方向で話し合われた結果全員再選となった。

出席者を増やすための方法を話し合い、会員が率先して声を掛ける等の意見が出た。

総会に続き、懇親会が行われた。

前回から2年ぶりの再会であったので、懐かしく各自の公的および私的な現状報告や社会情勢などの話題に花が咲いた。さらに、母校の今昔などの話題で終始和やかな雰囲気であら進んだ。

八木さんによる「デジタル放送」に関わる丁寧な解説があった。

さらに、宴の終盤で高橋さんの勉強しているテーマ「インフレ対策」に関わる説明があった。

2年後に再会することを祈念してお開きとした。

出席者:古本 博之(S.33卒)/橋本 進(S.34卒)/八木 孝信(S.38卒)/齋藤 輝夫(S.48卒)/石黒 明(S.54卒)/大間知 雅彦(S.54卒)/今井 浩幸(S.58)/島田 仁(S.63)/高橋 昭代(H.02)
[教職員]梅崎 幸雄/村林 大

石川県支部

■設立:平成5年5月21日

■登録会員:340名

■支部長:山岸 誠次 E-mail ishikawai@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

第7回 石川県支部会員の集い

開催日:平成17年9月17日(土) 出席者:6名
会場:金沢勤労者プラザ(金沢市)

講演会
テーマ:「身近な所からの発見・発明」
講師:金沢大学 広瀬 幸雄 教授

今までに発見・発明された特許申請済み・申請中・予定のもの、また、ビックビジネス化(商品化)されたの商品を示しながら、OHPを使用した講演であった

支部長より役員改選の議題が出され全員再選する意向の主旨説明があり、全員再選となった。総会に続き、懇親会が行われた。

出席者4名中の2名が多忙のため抜けたため、4人の寂しい宴であったが、番口さんも金沢大学の教授でしたので、いろいろな話題を提供していただき、退屈しない時間を過ごした。

母校の話題も出て懐かしさの雰囲気でも過ごし、次回再会することを祈念してお開きとした。

出席者:山岸 誠次(S.61卒) / 宮本 文彦(S.63卒) / 番口 栄吉(S.53卒) / 北西 和則(S.60卒)
[教職員]梅崎 幸雄 / 村林 大



長野県支部

■設立:昭和63年11月19日

■登録会員:3,197名

■支部長:峯村 理雄 E-mail nagano@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

第9回 長野県支部会員の集い

開催日:平成17年10月15日(土) 出席者:17名
会場:ホテル信濃路(長野市)



出席者:藤岡 清登(S.35卒) / 峯村 理雄(S.44卒) / 土屋 晴夫(S.47卒) / 望月 修(S.47卒) / 田中 文明(S.52卒) / 宮原 純(S.52卒) / 望月 申治(S.52卒) / 宮澤 剛久(S.53卒) / 小松 孝一(S.60卒) / 内堀 泰徳(S.60卒) / 滝田 仁昭(S.61卒) / 丸山 和正(S.61卒) / 山田 将仁(S.62卒) / 富岡 克彦(H.01)
[教職員]土尻 四朗 / 梅崎 幸雄 / 村林 大

長野放送見学会

ホテル信濃路の玄関ロビーに16:20に集合して、峯村さんの案内で長野放送局を見学した。

現在、デジタル放送に向けての放送機器全般の入れ換えなどで、局内は混雑していたが、各階の主なところを説明しながら案内して頂いた。また、デジタル放送に関する新しい話題なども交えながら見学した。

さらに、リハーサル中のスタジオ見学もさせて頂いた。普段は、テレビ画面だけの世界であったので、異次元の空間に入り込んだ錯覚に陥った。

支部長より役員改選の議題が出され藤岡氏が支部長を退任、副支部長に就任した。

後任の支部長には峯村氏を選任した。群馬に越された滝田氏が副支部長を退任され、新たに山田氏を副支部長に選任した。

総会に続き、隣室に移り懇親会が行なわれた。

出席予定者の3名が欠席されたが、支部長と出席者の14名と学校法人関係者3名を含めた17名で前回に続き、2年ぶりの会員と初めての会員とで盛り上がった。最初に新支部長と新副支部長の挨拶があり、今後益々発展して行く力強い挨拶があった。

懇親会場があまりにも立派なので驚いた。まるで披露宴会場ようであった。各テーブル間が広く対面での会話が出来なかったが、テーブル間を歩き回って名刺交換などで、各自それぞれの情報を得ながら会は終始和やかな雰囲気でも進んだ。

さらに、各自の恩師やクラスメイトの状況など、また、母校周辺の昔と現在の様変わりなどの話題でさらに盛り上がった。

次回も多くの出席者であることを願って、最後に全員で集合写真を撮りお開きとした。

静岡県支部

■設立:昭和63年9月29日

■登録会員:3,435名

■支部長:奥川 宏 E-mail shizuoka@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

第9回 静岡県支部会員の集い

開催日:平成17年11月6日(日) 出席者:15名

会場:ブク東海 静岡(静岡市)

支部長から役員改選の議事が出され、改選の主旨説明があった。
出席者全員の協議と支部長の意向の結果、全員承認の拍手で全員再任となった。

講演会 テーマ:「デジタルテレビの時代」
講師:大須賀 和夫 副支部長

パワーポイント(ノートパソコンとプロジェクター)を使用して、約50項目の項目と最後に15項目のQ&Aで講演を終了した。

講演会に続いて、会場を(3Fから4F)変えて懇親会が行なわれた。

出席予定者のうち3名が欠席されたが、支部長と出席者11名と事務局関係者3名を含めた15名であった。

最初に宮崎 利久会員の乾杯の唱和で懇親会が始まった。

会場は、大きな2つの円テーブル形式であり、終始和やかな雰囲気が進み、名刺交換などで各自それぞれの情報交換や各自の恩師やクラスメイトの状況など、また、配布したリーフレットを見ながら、母校周辺の昔と現在の様変わりなどの話題で盛り上がった。講演会のデジタル放送に関する話題なども出て、これからのテレビ放送の動向や新情報化時代に合わせて行く流れを改めて認識した。

会の終盤に近づいた頃、座席順に簡単な自己紹介(近況報告・将来の夢など)を行った。

(・静岡銀行に勤務されていた女性の方2名 ・独立して奥様と2人で品質管理を営まれている方 ・現在テレビ静岡に勤務されている方 ・以前県会議員であり今回の選挙にも立候補を予定されていて、また会員を増やすのに苦労されている方 ・空調関連のメンテナンスをしており、パソコンの出来る女性を募集している方・トム



出席者:宮崎 利久(S.34卒)/大須賀 和夫(S.43卒)/奥川 宏(S.47卒)/瀧美 均也(S.50卒)/落合 知可(S.51卒)/坂下 勲(S.51卒)/陰山 文(S.54卒)/金沢 慶治(S.55卒)/鈴木 喜子(S.56卒)/平岡 高己(H.01卒)/小林 寛幸(H.02卒)/前島 一(H.02卒)
[教職員]梅崎 幸雄/村林 大/関里 弥

通信に勤務していたが、現在はお弁当屋さん勤務している方 ・2年後に仲間7人とで会社を創ることになっている方 ・印刷業をされていて、奥様も同じ卒業生である方 ・印刷機の取扱い説明書関連に勤務されている方 ・電気電子機械の勉強をしたが社会に入ったら役にたたず、現在は日立系列の会社でネオン関連に勤務されている方

今回は、さらに出席者が増えることを願って、最後に全員で集合写真を撮りお開きとした。

三重県支部

■設立:平成5年5月14日

■登録会員:168名

■支部長:平井 正博 E-mail mie@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

第7回 三重県支部会員の集い

開催日:平成17年11月11日(金) 出席者:4名

会場:たまゆら ザ・プラトンホテル店(四日市市)

支部長から役員改選の議事が出され、改選の主旨説明があったが、出席者が少なかつたため、支部長の意向に任せて全員再任となった。

支部長と出席者1名と事務局2名を含めた4名であった。

少ない人数ではあったが、お互いに顔を付き合せながら、情報交換や恩師やクラスメイトの状況など、また、配布したリーフレットを見ながら、母校周辺の昔と現在の様変わりなどの話題で盛り上がった。

今回は、出席者が増えるような企画を検討するとのことである。

最後にさらなる支部の発展を願って集合写真を撮りお開きとした。



出席者:平井 正博(S.48卒)/五味 昌純(S.55卒)
[教職員]梅崎 幸雄/村林 大

京・滋支部

■設立:平成5年5月29日

■登録会員:184名

■支部長:倉持 信二 E-mail kyo_shi@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

第7回 京・滋支部会員の集い

開催日:平成17年11月12日(土) 出席者:7名

会場:ホテル プライツシティ山科(京都市)

支部長より役員改選の議事が出され協議結果、支部長・副支部長3名・会計は再任となった。

新たに幹事に小園氏を選任した。また石井副支部長は転居のため退任した。

会に続き同席で、懇親会が行なわれた。

支部長と会員出席者4名と事務局関係者3名を含めた7名であった。

少ない人数ではあったが、フルコースの料理を戴きながら、情報交換や恩師やクラスメイトの状況、昔の若者思考と現代の若者思考の違いなど、また、配布したリーフレットを見ながら母校周辺の昔と現在の様変わり、蒲田校と八王子校の違いや特に最先端技術設備を駆使した産学協同で進めている片柳研究所の素晴らしさなどの話題で盛り上がった。

会の途中で、席順に自己紹介(卒業科・期・近況報告・将来の希望など)となった。

(・京都オムロンに33年間勤務後、インスタントコーヒーとお茶のフィルターの製造技術をされている方・水とガスの環境装置の設備をされているが、これまで転勤が多く今回初めて参加された方・蒲田校で半年間教鞭を執り、現在は京都の専門学校で勤務されている方・電子回路設計関連企業を3人で経営されている方)



出席者:川村 晴義(S.44卒) / 小園 賢二(S.51卒) / 内田 幸治(S.52卒) / 倉持 信二(S.53卒)
[教職員]松尾 勇市 / 梅崎 幸雄 / 村林 大

会は終始和やかな雰囲気が進んだが、将来の蒲田校の有り方、または、競合校の話題になると皆、熱が入って真剣さが話しの中へ伺えた。

次回は、さらに出席者が増えるような企画を検討するとともに、さらなる支部の発展を願って集合写真を撮りお開きとした。

岡山県支部

■設立:昭和63年9月21日

■登録会員:313名

■支部長:実松 達視 E-mail okayama@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

第9回 岡山県支部会員の集い

開催日:平成17年11月25日(金) 出席者:9名

会場:炉ばた焼き 大 関(岡山市)

副支部長から役員改選の議事が出され、改選の主旨説明があったが、話し合いの結果全員再任となった。総会に続き、懇親会となった。

副支部長と出席者6名と事務局2名を含めた9名であった。

会場が狭かったこともあり、お互いに顔を付き合せながら、情報交換や恩師やクラスメイトの状況など、また、配布したリーフレットを見ながら、母校周辺の昔と現在の様変わりなどの話題で盛り上がった。

会の半ば頃に、名簿順に各自の自己紹介(近況報告など)となった。

(・山陽放送局を退職されて現在は、同局で後輩の指導をされている方・山陽放送局を途中で退職されて現在は、コンピュータ処理関連の自営とホテルを2軒経営されている方・在校中は多摩川寮で、卒業後は、NTT(電話交換機関連)で勤務したが、途中で退職され現在の会社を自営されている方・担任が平松先生で、卒業後から現在まで同じ会社(JR・私鉄のATS設置関連)で勤務しており、最近非常に忙しくなったと嬉しい悲鳴を上げている方・卒業後は、群馬県の渋川工場(ダイオキシン関連)に勤務したが、まもなく岡山県の水島工場に転動した。しかし、再び渋川工場へ、またまた水島工場へと行ったり来りの勤務をされている方・八王子校を卒業して静岡県で勤務したが、途中で現在の勤務(放送局)に変わった方・八王子校を卒業して東京で勤務したが、途中で現在の勤務(放送局)に変わった方)



出席者:白石 脩(S.40卒) / 石見 哲昭(S.40卒) / 滝本 喜八郎(S.46卒) / 尾崎 章夫(S.51卒) / 高橋 浩之(S.57卒) / 赤井 祐介(H.14卒) / 川瀬 洋平(H.15卒)
[教職員]梅崎 幸雄 / 村林 大

終始、年齢に関わらない世代の話題が出て、時間が経つのも忘れて会が進んだ。

最後に記念となる集合写真を撮りお開きとした。

山口県支部

■設立:平成3年9月14日

■登録会員:208名

■支部長:平岡 征男 E-mail yamaguchi@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

第8回 山口県支部会員の集い

開催日:平成17年11月20日(日) 出席者:7名

会場:居酒屋 坂 出 (山口市)

支部長から役員改選の議事が出され、改選の主旨説明があったが、支部長の意向により全員再任となった。

総会に続き、懇親会となった。

支部長と出席者4名と事務局2名を含めた7名および、特別参加の二十歳の女子大生1名を加えた8名であった。

少ない人数ではあったが、女性(母と娘)2名が参加されたので、話題には事欠かなかった。

会場が狭かったこともあり、お互いに顔を付き合せながら、情報交換や恩師やクラスメイトの状況など、また、配布したリーフレットを見ながら、母校周辺の昔と現在の様変わりなどの話題で盛り上がった。

形に嵌まった自己紹介は無かったが、各自それぞれの近況報告などを披露した。

(テレビ山口で技術局長をされている方、テレビ山口で技術部長をされている方、無線関連の業務をされている方、音響関連の業務をされている方、ご主人が獣医をされている方とお嬢さん)

特に音の魔術師と言われており、音響分野のバイオニア的存在であり、将来はカナダとフランスのファッションショー関連の音作りを予定している亀井さんの「音・サウンド」の話題と、ご主人が獣医で現役バリバリの女子大生を持ち、5匹のダックスフンドを飼われている岸本さんの「犬」の話題では、更に場が大いに盛り上がった。



出席者:平岡 征男(S.41卒)/山下 学(S.54卒)/浅井 雅博(S.55卒)/亀井 政一(S.56卒)/岸本 悦子(S.49卒)
[教職員]梅崎 幸雄/村林 大

今回は、出席者が増えるような企画(女子大生との合同コンパ"岸本さんのお嬢さんよろしくね!")を検討するとのことである。最後にさらなる支部の発展を願って集合写真を撮りお開きとした。

大分県支部

■設立:平成3年5月10日

■登録会員:198名

■支部長:麻生 和之 E-mail oita@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

第8回 大分県支部会員の集い

開催日:平成17年9月3日(土) 出席者:11名

会場:大分全日空ホテル (大分市)



支部長より役員改選の議題が出され、全員再選の方針で議論されが、宮崎 英治氏の解任(多忙のため)が承認された。

武生氏より校友会第16回通常総会(H.17.6.11 蒲田校)の報告。総会当日の議案書を配布し、各項目の説明があった。総会に続き、懇親会が行われた。前回から2年ぶりの再会ではあったが懐かしくもあり、各自の公私の現状や社会情勢など、又母校の今昔などの話題で終始和やかな雰囲気では進んだ。2年後にもお会いする事を祈念してお開きとした。

出席者:麻生 和之(S.36卒)/森崎 俊彦(S.49卒)/工藤 信男(S.49卒)/木本 哲生(S.50卒)/大神 充士(S.50卒)/後藤 徳二(S.56卒)/林 天洋(S.56卒)/武生 政也(S.63卒)/山田 尚史(H.06卒)
[教職員]梅崎 幸雄/村林 大

鹿児島県支部

■設立:昭和63年3月5日

■登録会員:646名

■支部長:久山 順一 E-mail kagoshimai@kouyukai.net又はkoyukai@nec.ac.jp

第9回 鹿児島県支部会員の集い

開催日:平成17年10月22日(日) 出席者:9名
会場:ホテル タイセイアネックス (鹿児島市)

支部長より役員改選の議題が出され、協議の結果、全員再任となる。

座席順に簡単な自己紹介を行った。

(リタイヤーされた方、横河電機系列に勤務の方、自営で車用カッティングシート製作の関連業務の方、多種なプログラム作成業務の方、自営でパソコン教室を立ち上げた方、車のシュミレーションに関わっている方、JAかごしま茶の営業販売業務の方) 続いて懇親会が行なわれた。

出席予定者の1名が欠席されたが、支部長と出席者6名と学校法人関係者2名を含めた9名であった。

会は終始和やかな雰囲気が進み、名刺交換などで各自それぞれの情報交換や各自の恩師やクラスメイトの状況など、また、配布したリーフレットを見ながら、母校周辺の昔と現在の様変わりなどの話題で盛り上がった。さらに、支部長のゴルフ談議に花が咲いた。

今回は、現状の会員名簿で多くの会員に連絡を取り出席者が増えることを願って、全員で集合写真を撮りお開きとした。



出席者:久山 順一(S.40卒) / 有川 弘文(S.50卒) / 尾之上 光政(S.52卒) / 重久 信(S.55卒) / 今辻 幸二(S.55卒) / 榎屋 多美男(S.57卒) / 上園 久幸(S.60卒)
[教職員]梅崎 幸雄 / 村林 大

沖縄県支部

■設立:平成1年5月27日

■登録会員:1,177名

■支部長:喜屋武 光信 E-mail okinawa@kouyukai.net又はkoyukai@nec.ac.jp

第9回 沖縄県支部会員の集い

開催日:平成17年11月26日(土) 出席者:37名
会場:ホテル 西武オリオン (那覇市)

ホテル地下1階の多目的ホール「昊の間」において、仲村輝雄(電子工学科41期卒業)さんの司会進行で進められた。

司会者より役員改選の主旨説明があったが、立候補者が無く協議の結果、全員再任となった。

引き続き外間 吉信(放送技術部13期卒業)さんが「地上デジタル放送」をテーマとして講演を行った。

徳田 永伸(電子工学科10期卒業)さんの乾杯の唱和で懇親会に入った。

立食パーティー形式なので、大きな円テーブルの廻りに沿って、会員相互の近況報告あるいは、名刺交換や情報交換など、また、恩師やクラスメイトの状況などで盛り上がった。会は、時間の経つのも忘れるほど盛り上がったが、さらなる支部の発展を願って、恒例の集合記念撮影を撮りお開きとした。



出席者:東恩納 盛春(S.36卒) / 屋武 光信(S.37卒) / 大城 守代(S.38卒) / 渡慶次 道宜(S.38卒) / 雷山 孝弘(S.39卒) / 外間 吉信(S.40卒) / 町田 宗徳(S.40卒) / 雷間 栄助(S.45卒) / 辻野 信作(S.45卒) / 仲村 義明(S.49卒) / 徳田 永伸(S.51卒) / 嶺井 政孝(S.53卒) / 比嘉 政則(S.53卒) / 友利 勝幸(S.55卒) / 仲村 輝雄(S.55卒) / 金城 正人(S.56卒) / 根間 正太郎(S.58卒) / 高江洲 博文(S.58卒) / 武島 秀喜(S.59卒) / 仲井間 宗邦(S.59卒) / 仲宗根 優(S.59卒) / 金城 善彦(S.59卒) / 玉城 輝之(S.61卒) / 赤嶺 雅栄(S.62卒) / 吉里 信彦(H.03卒) / 上間 愛子(H.09卒) / 比嘉 陽子(H.10卒) / 嘉手刈 彦一(S.55卒) / 板良敷 朝計(H.07卒) / 大城 盛隆(H.08卒) / 島袋 功(S.58卒) / 山川 光雄(S.57卒) / 嶺井 松繁
[教職員]栗原 正史 / 梅崎 幸雄 / 村林 大 / 関 里弥

韓国支部

■設立:平成6年3月19日

■登録会員:93名

■支部長:李 芙暎 E-mail cie@neec.or.kr 又は koyukai@neec.ac.jp

韓国支部会員の集い

開催日:平成17年9月4日(日) 出席者:17名

会場:JW Marriot Hotel



9月4日 韓国校友会支部会員の集い開催

久しぶりに開催の支部会員の集いは、当初30名の参加希望者がいるとのことであったが、当日の不参加者がかなりいました。最終的に12名のOBと桂田校友会会長、そして学校長ほか学校関係者で行われ大いに盛り上がりました。旧盆の時期が近く日曜日の交通渋滞が激しく会場に到達出来ず、翌日ホテルまで会いに来てくれた方もいました。李支部長と孫幹事は、欠席者が多く残念とのことと年内にもう1回会合を開きたいと意気込んでいました。

出席者:イ(CD31期卒)/ソン(CD31期卒)/キム(KD10期卒)/パク(KD31期卒)/パク(CD39期卒)/チャン(MM02卒)/ジョン(MU17期卒)/イ(MU06期卒)/ペ(FD18期卒)/パク(FD14期卒)/ホ(CL01期卒)/キム(ID24期卒)

【教職員】千葉 茂学校長/桂田 忠明校友会会長/大石 清彦/大島 一博/岩沢 妙子

平成18年度 支部事業

支部会員の集い開催予定

支部会員の集いは2年に一度開催されます。

総会では役員改選の後、支部活動についてのご意見をお聞かせいただき、その後の懇親会では地元の校友会員との情報交換やネットワークづくりの活発化を図ってまいります。また、講演会、研修会、見学会、レクリエーションなどを積極的に企画している支部もあります。

お知り合いの校友会員、姉妹校(八王子校・北海道校・東京工科大学)の卒業生をお誘いのうえ、多数ご参加いただけますようお願い申し上げます。

●卒業生の集まる会

宮古島地区 9月16日(土) 於:宮古島市

八重山地区 9月17日(日) 於:石垣市

青森県支部 10月1日(日) 於:青森市

青森市中央1-11-18「ラ・プラス青い森」

宮城県支部 11月11日(土) 於:仙台市

青葉区中央1-8-38「ブラセリーかに政宗」

*日程は都合により変更することがあります。

支部名	開催月日(曜)	開催地	支部長
岩手県支部	10月7日(土)	盛岡市	阿部 富美雄
福島県支部	10月14日(土)	郡山市	荒 俊之
栃木県支部	10月15日(日)	宇都宮市	三浦 専治
群馬県支部	10月21日(土)	高崎市	津田 穰
福井県支部	9月30日(土)	福井市	坂田 義和
山梨県支部	11月26日(日)	甲府市	名取 宏典
岐阜県支部	10月14日(土)	名古屋市	番場 日出喜
愛知県支部	10月14日(土)	名古屋市	朝日 教仁
近畿支部	12月2日(土)	大阪市	八木 一郎
兵庫県支部	9月30日(土)	神戸市	新庄 史奈
鳥取県支部	10月22日(日)	米子市	吉村 哲正
島根県支部	10月22日(日)	米子市	藤原 義広
広島県支部	調整中	広島市	肥後 政明
徳島県支部	10月27日(金)	徳島市	佐藤 博治
香川県支部	10月28日(土)	香川市	渡邊 博文
愛媛県支部	11月11日(土)	愛媛市	佐藤 公彦
高知県支部	11月10日(金)	高知市	高野 雅勝
福岡・佐賀支部	11月17日(金)	福岡市	穴見 誠
長崎県支部	11月18日(土)	長崎市	釘山 威
熊本県支部	11月18日(土)	熊本市	清田 茂徳
宮崎県支部	10月21日(土)	宮崎市	本田 英喜
韓国支部	9月10日(日)	ソウル市	李 芙暎
台湾支部	10月11日(土)	台北市	唐 偉倫

俳優・声優科

卒業生の皆さん、お元気ですか。福島真由美です。

1期～5期の方々、すっかりいいお父さんお母さんでしょうね。

16期～29期の皆さん、多方面でご活躍のことでしょう。

6期～15期の皆さん、ごめんなさい、お前は誰だ？って感じですね。

早いもので演劇科は今年、30周年を迎えました。

芸術学部が設立されて1年後、演劇科はたった一クラスだけおまけのようにできあがった学科でした。当時は稽古場もなく、一般教室の机を重ね上げ、また唯一あった工学院ホールの舞台上はもちろん、2階客席ロビーまでも稽古場として利用していたものです。バーを並べてパーレッスンやりましたものね。

平成3年(16期)に演劇スタッフ科を、平成9年(22期)に声優コースを併設して、現在のクラス数は12クラスとなりました。

18年度(31期)の新生は俳優・声優科260名・演劇スタッフ科 60名を迎え、1・2年合わせ総勢600名の大所帯です。

蒲田では、今たくさんの学生が将来の夢に向かって学んでいます。

そして少しでも早く現場に近づく為に、少しでも多くのチャンスをとの思いで、5年前に(株)コスモ・スペースとの提携により学内に「マネジメントサポートセンター」を設立しました。4名のマネージャーが常駐し、在校生の為に最新の外部オーディション情報の提供・その対策・マネジメントまでバックアップ。舞台やテレビ、ラジオ、インターネットラジオ…と在学のデビューから卒業後の芸能活動まで、クラス担任と共にサポートしています。

また収容人数100名の劇場(蒲田演劇工場)も大森西に設立し、在校生の発表の場として稼働しています。

なんか至れり尽せりで過保護かもしれませんね。

ところで今年3月、演劇科創設以来、演劇科と共にいらした科長の市川哲夫先生が退職されました。奉職されて30年だそうです。夢に向かって頑張る学生に、本当に永きにわたり厳しくまた温かくご指導していただきました。

おばさんも歳をとりました。皆さんたまには近況報告に顔を見せに来てください。そして是非、現場の話をもっと学生にしてあげてください。



1階客



入り口

演劇スタッフ科

『卒業して27年～47歳にしてまさかの新入職員』

放送制作芸術科ならびに演劇スタッフ科の卒業生の皆様お元気で
しょうか。平成18年度より新入職員となりました、鶴巻一弘と申し
ます。

昭和54年に蒲田校、放送制作芸術科：ホールイベントコースを3
期生として卒業し舞台照明会社へ就職～18年の在籍後フリーとして
活動、と共に蒲田校の非常勤講師として足掛け10年程母校にお世話
になってまいりました。

演劇スタッフ科は演劇を主軸においてのスタッフ養成、ホールイ
ベントコースから数えて31期となり本年度は60名の新入生を迎えまし
た。2年生と合わせると100名強、さらに声優&俳優科を加え600名
を超える大所帯となっております。

今までとは違う立場の中、気心の知れた職員の先生方に助けられなんとか4月よりの授業、学校
行事をこなしてまいりました。

学生を預かる立場と授業のみを受け持つ事の違いは外から見ただけではわからない事例が多く
あり、それに気付かされる毎日です。

まさか自分が母校の職員になるとの予想はなく、ましてこの歳で…日々の生活の一新にとまど
いながら、中年の新人として頑張る所存であります。

卒業生の皆様に報告とお願いがあります。卒業時より4年毎（冬季オリンピックの年）にホール
イベントコース照明部が主体となり同窓会を開いてまいりました。今年の3月にも熱海にて6回目
の開催となり、当時の講師の先生も駆けつけて頂きました。

今回の開催にあたり、まめな永久幹事と参加者の拡大を企ててみました。しかしなかなか、み
なさんの現在の足取りをたどる事が難しく断念するに至りました。

おぼろげな記憶のなか当時の話題をたどっていくと、お互いの若かりし顔がよみがえって
くるものです。是非ともご連絡をお待ちしております。期を問わずのつながりにも発展できれば
とも考えております。

次回開催は2010年、2月21日（日）：都内にて。

ここ数年、演劇スタッフ科もずいぶんと様変わりしてきました。在学中からなるべく多くの現
場を経験させるべくインターンシップの導入、資格取得支援による各種技能認定（高所作業、フ
ォークリフト、電気工事士、小型クレーン等）の受講、私も学生と共にヘルメットをかぶり、い
くつかの技能認定を取得しました学生の手前、落ちるわけにもいかず…ドキドキでした。

私が非常勤になってからの卒業生がお休みの日を合わせちょくちょく学校に遊びに来てくれ
ます。そんな際には昔を思い出して授業に出てもらい、現在の現場での苦労話やら失敗談などを後
輩に話をしてもらいます。年齢の近い現場の先輩の話は学生達にとっては一番の興味の対象であ
り、この繋がりが私の財産でもあります。

学校は19年度よりカレッジ制となり大きな変化をしていきます。蒲田の町も変わりそうです。
近くにお越しの際はお立ちよりください。

蒲田校3号館7Fに居るはずです。きっと居ます。



演劇スタッフ科

鶴巻 一弘

tsurumaki@neec.ac.jp

放送芸術科

放送制作芸術科、放送メディア科卒業生の皆さん！おはようございます。

昭和50年、芸術学部発足と共にスタートした本学科も32年の歴史を刻んできました。

この間かつてのミキサーコースが音響芸術科に、ホールイベントコースがコンサートイベント科に拡張していく中、最大で学生数160名で6クラスあった年（5&6期生）から80名2クラスと少ない年度もあったのですが、近年は60名4クラスと賑わいが戻っています。

授業内容も変化し座講が多かった以前に比べ、今では実習時間の拡大とインターン制導入により、校内だけでなく現場でも活動出来る様になっています。

例えば、横浜スタジアムでのオーロラビジョン用映像制作、日本テレビ<ズームイン>やフジテレビ<僕達の音楽><めぐまじテレビ>における制作サポートを担当しています。

また、大田区を始め外部からの映像制作、OTAフェスタ、洗足池での<春宵の響>などのイベント映像制作に協力し学内では味わえない貴重な体験をしています。

実習作品は学内に留まらず、毎年9月に<ラフォーレ原宿>での発表会を実施したり地元大田ケーブルテレビでの放映、更に各種ビデオコンテストに出品しています。

実習指導は専任教員と共に、現役プロの企画演出、カメラ、音声、照明、美術、編集MAの方によって、現場の技術・知識、マナーを受けられる様になっており学生は緊張の中にも厳しさと楽しさを学んでいます。もちろん講師には多くの先輩がおられます。

「放送関係の仕事がしたい、演出・監督・カメラ・照明・音声をやりたい」と入学してくる学生の希望は昔と変わらず、気質も大きくは変わらないと思います。

皆さんが現場で活躍している話を聞いたり、番組でのスタッフロールで名前を見るたびに「頑張っているんだな」と嬉しくなってきます。

蒲田に来た時は是非学校にお立ち寄りください。在校生と共に待っています。(記/脇)

■旧教員（平成5年当時=19期）

- 下地 裕介（定年退職）
- 辰巳 吉秀（定年退職）
- 石倉 英典（キャリアサポートセンター）
- 塩川 鉄雄（東京工科大学）
- 鈴木 勝則（芸術学部・部長）
- 沼澤 重成（教務課）
- 国重 雅彦（広報課）
- 清水 亮二（声優・俳優科）
- 山下 顕治（コンサートイベント科）

■現教員

- 高澤 敦博（総括・制作）
 - 柴田 陽一（音声）
 - 脇 俊博（映像）
 - 佐藤 博昭（ショートムービー）
 - 東 英児（編集）
 - 金井 高広（照明）
 - 肥田 聡司（制作）
- ☆
教育補助員 5名



■トピックス

放送芸術科、初めての海外研修実施

昨年（2005年）9月、70名の学生と韓国へ研修旅行を実施しました。

KBS&MBCを見学（卒業生のご配慮によって実現）し、卒業生の照屋勉さん（ソウルでカメラマン・6期生・沖縄県出身）の講演を受け、公州映像大学を訪問し、一緒に番組を作ったり、お互いの作品を見せあって有意義な交流をもちました。帰国後もメール交換し友好を深めています。



韓国・KBS見学



照屋 勉さん

■現在の実習機材（抜粋）

- デジタルオープンスタジオ（HDカメラ4式・9098iミキサー・ムービングライト）
- スカイスタジオ（HD移動SWシステム・HDカメラ3式）
- ENGカメラ（V55&DV5各3式・PD170=20台、DVX100A=10台）
- リニア編集（BVE-900、βCAM、DSR2000・D3）
- ノンリニア編集（AVI D=30台・Final-Cut=10台）
- MA（プロツールズ）等

■思い出

- ★かまた祭での箱根中継
- ★EXTV
- ★体験入学
- ★もちもちの木制作
- ★CMアンモナイト
- ★TDL見学
- ★OTAフェスタ
- ★スポーツ中継実習
- ★体育祭



もちもちの木制作



EXTV

コンサート・イベント科

ここ数年のコンサート・イベント科の様子を紹介します。

実習施設と講師陣の充実により質の高い授業を実施して年間約50本のライブがこなせるまでの学科になりました。卒業生の皆様是非一度後輩たちの活躍を目の当たりにしてみてください。

■近年の主なコンサート実績

2002.1	NATURAL BORN DAIMONDS 2002 FINAL	黒田倫弘、MILD MYND 他オーディション通過7バンド	渋谷公会堂
2002.6	「LF+R RECORD スペシャル IN 日本工学院」	森山直太朗、Kayoko、より子。 ゲスト/つじあやの	デジタルオープンスタジオ
2002.7	大和音楽～夏しぐれ～	H、劇団ライオンバス、チャッカマンズ 他	クラブチッタ川崎
2002.11	第37回かまた祭 お笑いライブ	雨上がり決死隊、ペナルティー、タカアンドトシ	デジタルオープンスタジオ
2003.1	NATURAL BORN DAIMONDS 2003 FINAL	Bivattchee、劇団ライオンバス 他オーディション通過8バンド	渋谷公会堂
2003.6	森広陸 オープンキャンパス・スペシャルライブ	森広陸	デジタルオープンスタジオ
2003.11	第38回かまた祭 お笑いライブ	アリオキリギリス、ホリ、ダブルブッキング	デジタルオープンスタジオ
2004.1	NATURAL BORN DAIMONDS 2004 FINAL	川嶋あい、undercover、SWALLOW WING 他7組	渋谷公会堂
2004.6	高校生歌い人選手権 決勝大会	ゲスト/矢野絢子	デジタルオープンスタジオ
2004.7	うりぼうの成長記～ニシヘヒガシ～	電撃ネットワーク、ピンクリボン軍、ワカバ、sacra、H、マキシマムザホルモン、スモーキン、森の木野郎達、とちの恵、エスカロップ	Shibuya O-East、Shibuya O-West
2004.10	第39回かまた祭 お笑いライブ	しゃるろっと、つぶやきシロー、村田渚、号泣	デジタルオープンスタジオ
2005.1	「RUSH!!!」蒲田校卒業公演	POSSIBILITY、CATCH THE TOY、ライオン	渋谷公会堂
2005.5	音楽ってカンタン!	品川庄司、安良城紅、SACRA他	品川プリンスホテルステラボール
2005.6	オープンキャンパス+体験入学 スペシャル!	中ノ森BAND、Natural Punch Drunker	デジタルオープンスタジオ
2005.7	NATURAL BORN DAIMONDS 2005 FINAL	SNAIL RAMP、CHILD STOP 他4バンド	クラブチッタ川崎
2005.11	かまた祭 in ステラボール	三浦大知、AAA、他	品川プリンスホテルステラボール
2006.1	MEETIN' Ball	Full Of Harmony、Kyeco、タカチヤ、球舞、RUN-D-CREW	品川プリンスホテルステラボール



■17年度海外研修旅行



ニューヨーク4日間、フロリダ4日間で本場アメリカのエンタテインメントを楽しみながら勉強してきました。

■実習施設

BOX ステージ



200名収容のライブハウスはコンサート・イベント科専用の実習施設です。

デジタルオープンスタジオ



600名収容の多目的ホールを2号館6Fに設置。放送芸術科との共用施設ですが様々なライブが開催されています。

品川プリンス ステラボール



日本工学院のサポートにより運営されている品川プリンス ステラボール。17年度は「かまた祭」と「卒業コンサート」に使用しました。

■教員・講師紹介

遠山 一明 科長
中村 英詞 主任
床鍋 隆 (PA)
中里 哲也 (PA)
山下 顕治 (照明)
渡邊 勝弘 (制作)
本多 真一郎 (制作)
光岡 愛 (照明)

<アシスタント>
藤原 愛 (10期卒)
西村 剛 (10期卒)
久保 綾希子 (11期卒)
山本 英里 (11期卒)
椎木 浩 (11期卒)

<制作講師>
船越 敬司
馬淵 仁彦
佐藤 正朗
岡 秀樹

<PA講師>
剣持 彰嗣
奈良 亘祐
井上 朗
小阪 敦
金田 臣司
奥山 竜太

<照明講師>
岩嶋 佐和子
横山 和広
佐々木 治郎
尾崎 勝巳
及川 哲弘
奥山 勝則
平緒 邦子
丹羽 一志

<舞台監督講師>
村松 晃一
奈良脇 康弘

グラフィックデザイン科

映像・デザイン・美術科～マルチメディアアート科

～グラフィックデザイン科となり新たな道歩んでいます。

みなさんお元気ですか。本学科もスタート以来30年を経過してまだまだ、いやいっそう頑張っ
てやっています。映像科、デザイン科、美術科という3学科時代からマルチメディアアート科3コ
ース時代を経て、2004年からはグラフィックデザイン科となりグラフィックデザインコース/イ
ラストレーションコースの2コース制を取っています。映像系の分野は現在、放送芸術科の中に組
み込まれています。専任、講師の先生方も少しずつ入れ替わっていますが、本学科の良さである、
「明るく自由闊達」な気風は失なわぬよう努めてきたつもりです。

最近特に感じるのは、OBのみなさんのご協力とご支援のありがたさです。さすがに30年、デザ
イン業界で独立、役職、フリーランスと様々な形で活躍されている方々に就職情報、インターン
シップなどでお世話になることが本当に多くなってきました。また現在講師として後輩の指導に
力を貸していただいているOBもいらっしゃいます。こうした関係が時代とともに形を変えてきた
本科の中に背骨となつていい伝統を育んできたのだと思っています。

さて、現在のグラフィックデザイン科は「外に開く学科」をテーマにいろいろなコトにチャレ
ンジしています。企業にデザインの企画を提案し商品化したり、蒲田西口商店街と共同でイベン
トを開催して、ポスターや折り込みチラシをデザインしたりと、学生たちは通常の授業以外にこ
れらの仕事(?)をこなし、毎日忙しく学校生活を送っています。かつてはADB通信という雑誌を
制作していましたが、今でもスタイルを変えて雑誌作りも行なっています。こうした作業は指導
する側にもかなり負担にはなりますが、学生同士、教員と学生の絆をより強くする効果がありま
す。また昨年度は、初めてニューヨークへの海外研修を実施し40名の学生が美術館、ギャラリ
ー、アートスクール、デザイン事務所の見学と現在本学科で顧問をしていただいている黒田征太
郎先生とワークショップを行なつてまいりました。初めて海外旅行をする学生も多く「目から鱗」
の体験だったのではないのでしょうか。

「教員が生き生き元気でないと学生たちは成長しない」というのが我々の持論です。これからも
時代の流れを見据えながらOBのみなさんとともに頑張る学科でありたいと思っています。

あっそうそう。本学科は学科設立依頼初めて、新築の校舎に移転しました。お近くにおいでに
際はお立ち寄りください。眺めもいいですよ。

鶴田 勇一



まだまだやっています。夏の校外実習(キャンプ)



NY研修。黒田征太郎先生と

学科メールアドレス ……necdesign@nifty.com
鶴田 勇一 ……ytsuruta@nec.ac.jp
秋山 潔 ……akiyama@nec.ac.jp

音響芸術科

音響芸術科、音響メディア科の卒業生の皆様お元気ですか。音響芸術科は昨年25年目を迎え、今年度は26期生が入学しました。日本工学院の音楽・音響系の学科としてはもっとも歴史がある学科として頑張っています。長い歴史の中ではこの分野に広く対応するため、様々な内容をカリキュラムに取り入れておりましたが、近年は学科が細分化されたこともあり現在の音響芸術科は「サウンドエンジニア」を育成することを目標においた学科になりました。ある意味ではこの学科本来の姿に戻ったのかもしれない。



カリキュラムの変化のみならず、音響芸術科自慢の実習設備も節目節目で大きく変わっています。平成3年にはR-1ST、R-2STのミキシングコンソールはHarrisonをSSL4000G、モニタースピーカーはJBLをGENELEC、MTRはMM-1200をDTR-900に変更し、コントロールルームの内装を一新しました。10期の皆様はちょうどシステム変更の時期で2倍のことを学んで頂きました。平成14年には更に大きな変更をしました。(株)ミキサーズ・ラボと業務提携を結びよりハイレベルなエンジニア教育を始めると共にR-1ST、R-2STにはそれぞれSSL9000J、R-1に、従来のR-6ST、R-7STと二階機材庫（懐かしいですね）を一つにしてレコーディングスタジオとし、そこにR-1STのシステムを、R-3STにR-2STのシステムを移動しました。更にR-3STにあったDSPとO2RをR-5STに移動し、R-4STにはProToolsを導入しました。また、これらに伴いこの時には1号館1階と2階のスタジオの改装と一部廊下などに手を加えました。スタジオの名称を変更したのもこの時です（別表参照ください）。実習カリキュラムもこのタイミングで大きく変え、月～水を一年生、木～土を二年生で行い現在は合計8つのスタジオをそれぞれの学年でフルに使っています。今年度からは業界のニーズにより即した学生を送り出すためにProToolsの設備を大幅に強化しました。

平成19年度からは日本工学院はカレッジ化されます。音響芸術科はミュージックカレッジのレコーディングクリエイター科としてレコーディングエンジニアコース、MAエンジニアコース、ProToolsエキスパートコースの3コースを設定し新たに生まれ変わります。これからも皆様に続く多くのサウンドエンジニアを業界に送り出せる様、努力致します。応援宜しくお願い致します。

■スタジオ新旧名称

録音スタジオ総称 Sound Creative Laboratory

- 第1録音スタジオ→Site A
- 第2録音スタジオ→Site B
- 第3録音スタジオ→Site F
- 第4録音スタジオ→Site E
- 第5録音スタジオ→Site D
- 第6、第7録音スタジオ→Site C
- ダビングルーム→Site G
- MAルーム→Site H

■あの恩師は今（敬称略）

現在の教員

- 遠山 一明
- 増田 有示
- 井口 雅仁
- 朝比奈 孝浩
- 吉野 雄一郎
- 我妻 拓

旧教員

- 佐藤 充
- 床鍋 隆
- 清水 雄史
- 平野 省一郎
- 本間 敏弘
- 鈴木 茂典
- 竹内 章造
- 橘田 和泰
- 濱水 一彦
- 宮川 善夫

マルチメディア・アニメーション学部
コンサート・イベント科

退職

キャリアサポートセンター（旧就職課）

定年退職（平成18年3月）

法人 総務第二課

東京工科大学

退職

八王子校 音響芸術科

東京工科大学

総合ミュージック科

1970～90年代事務処理中心だった大型コンピュータの時代から、ハードウェアの小型化・価格低下に伴い、芸術分野での普及が本格的に進みました。

1996年(平成8年)音楽制作分野としてコンピュータミュージック科を設立、当時としては業界にもほとんど導入されていなかったハードディスクレコーディングシステムProtoolsを中心としたDAWルーム(Digital Audio Workstation)が完成し、学生たちも最先端の環境での楽曲制作に毎日夜遅くまで夢中になっていたのを思い出します。

設立当初はクリエイターコースとエンジニアコース、その後ボーカルコース、ゲームコース、DJコースを増設、さらに2004年(平成15年)ミュージックビジネス系の人材を育成していたミュージックエンタテインメント科と統合、幅広い音楽業界の人材育成を目指し、科名を「総合ミュージック科」としてリニューアル。

プレイヤーコース(ギター・ベース・ドラム・キーボード)、ヴォーカリストコース、コンポーザ・アレンジャーコースと本格的に業界デビューを目指す学科へと再スタートを切りました。来年2007年には現コンサート・イベント科、音響芸術科、新設のダンスパフォーマンス科とともに日本工学院ミュージックカレッジとして、音楽業界が卒業生で埋め尽くされることを願っています。

総合ミュージック科 杉山 直樹



マンガ・アニメーション科

蒲田校の総合アニメーション科を卒業した皆さん、お元気ですか？1期生の人は補助員だった、2期生の人は講師だった、3期生の人は1組副担任だった、4期生の人は2組キャラデコース担任だった、5期生の人は3組マンガコース担任だった内田です。皆さん覚えていてくれますか？あんなおかしな先生忘れる訳ないだろう！！ってツッコミ入れていただければ幸いです。

現在、2000年にスタートした本学科は総合アニメーション科からマンガ・アニメーション科と名前を変え、2006年4月には7期生を迎えることができました。この7年間本当にいろいろな事がありました。

まず、一番の大きな出来事としてアニメ・デザイン館という新しい校舎ができ実習室が移動した事です。最初は3号館4階の片隅から始まったStudioCALが今では新校舎の5フロアを使い実習を行っています。1FはStudio CALとCALギャラリーが併設された学生ロビー。2FはCG Design Factory、昔の3414教室です。3FはVFX Design Studio、撮影班と新しくできた背景班がここを使っています。4FはManga Factory、マンガコースの実習室で昨年からはデジタルコミックの実習が始まりました。5FはAnime FactoryとAtelier、作画教室とデッサン教室です。随分と変わってしまっただけ卒業生の人は少し寂しいかもしれませんが、より良い環境とカリキュラムになっています。まだ見ていない卒業生の人は是非遊びにきてください。

また、先生も随分と増えました。最初はBossこと佐藤先生、小山先生、鈴木陸男先生、カオリンこと山田先生、そして私内田の5人で始まったこの学科に、講師でGONZOからきていた臺野先生や、同じく講師の川合先生、元ゲームソフト科の平岡先生、アニメプロデューサーの大西先生、デザイナーの高嶋先生、メディア研究科の講師だった藤田先生、マンガ講師のすずき銀座先生、そして1期生の人はよく知っている卒業生テレ中こと齊藤先生が内部教員になりました。現在は補助員も含めると総勢18名のスタッフが学科を運営しています。また小山先生は現在webシステム科の主任として活躍されています。

あと、マンガコースからは漫画家としてデビューした人もいます。週刊少年マガジンでは平山さん、月刊マガジンZでは瓦屋根さんこと宇田川さん、そして月刊デザートでは福山さんといった形でどんどんデビューが決まってきています。現在漫画家を目指している人も負けずに頑張ってください。もし雑誌で見かけたら応援をよろしくお願いします。最後にStudio CALの卒業生は昨年度の5期生卒業で1000名を超えました。

周りに先輩や後輩がいる人も多いと思います。そんなみんなは卒業したとはいえ仲間でありライバルです。これからもお互いに助け合い、刺激し合い、切磋琢磨して下さい。そんなみんなの事をCALスタッフはいつでも応援しています。また学校にも是非遊びに来て下さい。待っています！



クラブ顧問からのメッセージ

各顧問への連絡はkoyukai@neec.ac.jpへ

テニス部

■顧問 小松 眞理子(学生課)・清水 憲一(建築設計課)

部活は心のオアシスだ!!

蒲田校テニス部は、今年も元気いっぱいに走り出しました。又昨年度は、念願がかない全国大会に出場する事が出来ました。部員一同喜びを分かちあった真夏の山中湖平野のコートは、良い思い出としてそれぞれの心に強く刻まれた事でしょう。OBの皆様汗だらけで走りまわっている後輩の姿をぜひ見てやって下さい。そして皆で喚起の声をあげましょう。『やっぱりテニスは楽しいね』と!!

バレーボール部

■顧問 濱本 達雄(臨床工学科)・山内 忍(臨床工学科)

女子バレー部全国大会出場!!

4月から新チームになったバレー部ですが、「関東専門学校バレーボール選手権大会」で女子バレー部は第3位と好成績を取め、8月には全国大会にも出場しました。男子は惜しくも全国大会出場を逃してしまいましたが、現在は気持ちを切り替え秋季リーグ戦に向け、日々練習に励んでいます。昨年度から日本工学院八王子校との合同練習など他校との交流も活発になってきました。日工バレー部は男女仲良く、また初心者の方でも楽しく活動できる部活です。バレーで爽やかな汗を流したい方、いつでも体育館へ寄ってみてください。

スノースポーツ部

■顧問 沼澤 重成(資格支援センター)・石倉 英典(キャリアサポートセンター)・高橋 聡(CAD設計製図科)

～OB・OGは生涯の友～

今年4月の始めに熊の湯スキー場での“指導員研修会”に参加してきました。最近は、こんな事でもないと柳さん、近藤さん、田村さんにも、なかなか会う機会が無くなりました。が、なんとSAJが『子供と一緒に滑れば研修会修了とする』というので、皆に声を掛け、子供同伴で参加してきました。“家の子供はどうしたのか?”ですか。そんな事より、2年後に皆で、研修会で遊びませんか。

*小坂先生、長年に渡る顧問をありがとうございます御座いました。今後は、FREEで!

空手道部

■顧問 川村 景吾(ゲームソフト科)・本多 真一郎(コンサート・イベント科)

一緒に青春しましょう

世界の空手道部を目指して、アピールをしないとイケません。今年は、新設の映画製作同好会に協力して頂きプロモーションビデオの制作を検討しています。もちろん、練習も前回お知らせした通り、基本・型・組手の3本立てで行います。夏合宿などのイベントも企画していますので、強くなりたい人、楽しみたい人、是非来て下さい。

少林寺拳法部

■顧問 内藤 優(ネットワークセンター)

創部40年に向けて

昨年度は何と少林寺拳法東京都大会において第2位となり、国際大会の大舞台にも出場することができました。ひとえに300名をこえるOBの応援の賜と感じています。毎年秋のかまた祭にあわせて工学院支部のOB会も開催しておりますので、ぜひ蒲田の街におこし下さい。また2年後には創部40年の記念祝賀会も予定していますので御期待下さい。

バドミントン部

■顧問 中島 浩行(電子工学科、CAD設計製図科、パソコン・ネットワーク科)・中田 雄(情報処理科)

今年こそは上位入賞

バドミントン部は創立17年目になり、現役生も多数入部しにぎやかな部活になりました。今年は大会上位入賞を目指し、日々練習に励んでいます。OBの方も多数練習や食事会に参加していただいています。皆様も現役生の元気な姿を見に来て下さい！

練習：火曜日、土曜日3号体育館 大会：都大会に年3回出場予定です

野 球 部

■顧問 井上 正也(パソコン・ネットワーク科)

練習試合のチームを大募集

野球部は、春季大会・夏季大会・秋季大会の3大会に毎年参加しています。夏休みは、長野県須坂で強化合宿や練習試合を取り入れ技術を磨いています。

毎週火・木の放課後に多摩川六郷土手グラウンドで日が暮れるまで練習を行い、コミュニケーションを大切に楽しくかつ真剣に活動しています。そして、実践的な経験を多く積んでいきたいため、練習試合のチームを募集していますので、卒業生の皆さん気軽に連絡してください。

サッカー部

■顧問 川村 公二(電子工学科)・岡崎 誠(臨床工学科)・大矢 政男(医療情報科)

勝ち点をめぐる旅

World Cup Year!

校友会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。新入部員を迎え新年度もスタートしました。現在、多摩川土手での練習と体育館でフットサルをおこなっています。今年度は決勝トーナメントで好成績を残せる様、練習にはげむ所存です。選手達の活躍にご期待下さい。

東京都専門学校サッカー連盟HP：<http://tafa.at.infoseek.co.jp>

剣 道 部

■顧問 渡邊 和之(電気工学科)

剣道部再建に向けて

昨年、主に活躍していた部員がほとんど卒業してしまい、17年は人数不足から、団体戦に出場することもできませんでした。

現在は3名の2年生が部員増を目指し、新入生に剣道部をPRすべく、毎週月、木に稽古を続けていますが、少人数で今一つ盛り上がり欠けています。そこで、諸先輩方にも稽古に参加頂き、活気溢れる剣道部をアピール出来ればと考えていますので、ご協力お願い致します。

ゴ ル フ 部

■顧問 村林 大(学生課)・長須 俊浩(電気工学科)

東京都専門学校ゴルフ大会を目標に

ゴルフ部は10月の東京都専門学校ゴルフ大会を目標に打ち込みからアプローチ、パターなどの技術的な練習を中心に頑張っています。また5月には「初心者対象ショートゲーム大会」、8月には「夏の強化合宿」、11月には「かまた祭での焼きうどん屋」を予定しています。

ぜひ、学校や練習場に足を運んで、後輩の指導をお願い致します。お待ちしております。

卓球部

■顧問 横山 重明(電子工学科)・猪口 眞美(学生課)

1年生が元気です！

今年度は、男子学生10名、女子学生4名の新入部員を迎えることができました。2年生以上の学生は、就職活動等と思うように練習には参加できませんが、1年生部員がまとまり、元気に楽しく活動しています。新入部員の意識は高く、「東京大会優勝！」が目標です。男女とも、バランスのとれたチームができそうです。

バスケットボール部

■顧問 小西 孝悦(電気工学科)・市川 数馬(キャリアサポートセンター)

体育館の思い出

バスケ部OB・OGの皆様、日工体育館の白いバックボード覚えていますか？今年度、何とクリアボードに変身しました。やっと…の思いもありますが。更にプレッシャーリリースリングになり、初ダンクは私が奪ってしまいました(脚立ダンク!) (笑)床もひび割れだけは補修していただきました。練習日は月・金です。後輩の練習相手になって下さい。そして、オープン大会への出場お待ちしております。(日工ドリームチームの2連覇はなりませんでしたが)過去の栄光(!?)を後輩達に見せてやって下さい。

音楽部

■顧問 朝比奈 孝浩(音響芸術科)・松山 裕(芸術学部)

新生音楽部がスタートしました

かつては山野楽器主催ビッグバンドジャズコンテストに専門学校で唯一参加していた音楽部ですが、最近は部員の減少と共に活動も停滞していました。しかし、今年度はやる気満々(!?)の学生も数名入部し、演奏することを楽しむクラブとして新生音楽部はスタートしました。まずはかまた祭で演奏することを目標に頑張ります。ぜひ応援にいらしてください。また新入部員も随時募集しております。

雑誌部

■顧問 諸星 正道(学生課)

かまた祭、ただ今進行中！

雑誌部は、現在、学校誌アンテナ「かまた祭号」を制作しています。昨年の「かまた祭号」制作では、かまた祭実行委員が「かまた祭号」の取材、原稿作成、撮影編集などを毎日夜遅くまで作業していました。今年の「かまた祭」も企画が盛りだくさんです。今年もどんなページにしようかと思案している最中です。今年の「かまた祭」には、ぜひ遊びに来てください。

ミュージックバンド同好会

■顧問 森尻 里志(学生課)・原田 博之(総合ミュージック科)

まず渋谷から～

私が青春のころは、バンド＝不良という時代でした。しかし最近、まじめに取り組む学生が入部してきます。活動は、6月に新歓ライブ、8月に千葉で夏合宿、11月に学園祭ライブ、12月にクリスマスライブ、そして3月には校外のライブハウスを借りて卒業ライブと年間を通じて盛沢山です。是非一度、部員達の活動風景を見に来てください。

電算ソフト部

■顧問 加藤 都三(基礎学習支援室)・和気 巨英(基礎学習支援室)

伝統と自由奔放

電算ソフト部は、運営を含め学生主体で活動しています。コンピュータを道具にして色々は事にチャレンジしています。制作するとき互いに助け合い「かまた祭」でその成果を発表しています。クラブ部員は、卒業してもそのつながりを大切に、良き先輩として部活に顔を出しています。伝統と自由が合言葉です。

放送制作研究部

■顧問 国重 雅彦(広報課)

こんにちは！クニシゲです

昨年の春、私の病気回復会で皆々とあえて嬉しかった。その節は「ありがとう」でした。

さて、部長の谷本君、緑川君そして今回、新部長は南本(みなもと)広樹君です。入部説明会は沢山集って頂きました。さて、実際の部員数は…?!それはかまた祭で。今年も公開ラジオ番組を行ないます。その時新入部員と私、クニシゲと久し振りのOBと再会ですね。それでは、学院祭でお会いしましょう。

写真部

■顧問 瀬田 義雄(情報処理科)

賑やかに活動しています！

新学期が始まり、多くの新入部員を迎えることができました。活動ですが、木曜日を集まる日とし、他は部員の都合で、暗室等を利用しています。今後は、かまた祭等への作品展示に向け、大いに活動していきます。

また、入部は随時受け付けていきます。気軽に3号館地下1階の暗室にお出でください。一緒に作品作りを楽しみましょう！

無線部

■顧問 増田 有示(音響芸術科)・野村 健太(建築設計科)

コールサイン「JA1YAC」

ユースホステル研究部

■顧問 本田 堅一(電気工学科)・佐藤 求(臨床工学科)

旅の出会いを大切に

昨年度の活動は、5月にマザー牧場、7月には2泊3日の夏期合宿で日光ホステルング、10月には三浦半島めぐり、1月には1泊2日の中伊豆ハイキングを行いました。今年の3月で顧問の辰巳先生が退職され、新たに臨床工学科の佐藤(求)先生を顧問に加え頑張っています。OBの方も是非一緒に参加して下さい。楽しい旅の思い出をつくってみませんか。

主なクラブ試合成績

●剣道部

2003	大田区民剣道大会	一般女子	8位
		男子初段以下の部	優勝
		男子二段の部	8位
2004	大田区春季剣道大会	男子二段の部	8位
2005	大田区春季剣道大会		出場

●空手道部

2003 大田区民スポーツ大会春・秋季空手道大会出場

●バスケットボール部

2000	東京都専門学校会長杯トーナメント戦	男子	準優勝
	東京都専門学校秋季リーグ戦	女子	準優勝
2003	東京都専門学校会長杯トーナメント戦	女子	4位
	東京都専門学校秋季リーグ戦男子決勝トーナメント		出場

●バレーボール部

2003	春季東京都専門学校大会	男子1部リーグ	6位
		女子2部リーグ	4位
	秋季東京都専門学校大会	男子2部リーグ	2位
2004	春季関東専門学校バレーボールリーグ戦	男子2部リーグ	1位
	秋季関東専門学校バレーボールリーグ戦	男子1部リーグ	5位
		個人賞受賞	
2005	春季関東専門学校バレーボールリーグ戦	男子2部リーグ	1位
		優秀選手賞受賞	
	春季関東専門学校バレーボールリーグ戦	女子2部リーグ	3位

●卓球部

2004	東京都専修学校各種学校卓球大会	女子団体	優勝
	全国専門学校卓球選手権大会	女子団体	3位
2005	東京都専修学校各種学校卓球大会	男子ダブルス	3位

●スノースポーツ部

2003	専門学校スノースポーツフェスティバル		出場
2004	専門学校スノースポーツフェスティバル		出場
2005	専門学校スノースポーツフェスティバル		
		女子スノーボード大回転	1位
		男子スノーボード大回転	1位、2位、3位
		男子スキー大回転	1位、3位
2006	専門学校スノースポーツフェスティバル		
		女子スノーボード大回転	1位
		男子スノーボード大回転	1位、2位、3位
		男子スノーボード大回転	1位、3位

●野球部

2005	春季東京都専門学校軟式野球大会		出場
	夏季東京都専門学校軟式野球大会		出場
	秋季東京都専門学校軟式野球大会		出場

●テニス部

2004	東京都専門学校各種学校春季リーグ戦		
		男子団体1部	4位
2005	東京都専門学校春季リーグ戦		
		男子団体1部	3位
		女子団体2部	優勝
	東京都専門学校夏季総合テニス大会		
		男子団体1部	3位
	全国専門学校テニス選手権大会		
		男子団体戦	出場
		女子ダブルス	戦出場
	東京都専門学校秋季リーグ戦		
		男子団体1部	3位
		女子団体1部	4位

●バドミントン部

2003	東京都専門学校春季バドミントン大会		
		男子ダブルス	準優勝
			3位
		男子ダブルス2部	優勝
			準優勝
	東京都専門学校バドミントン大会団体戦		
		男子1部	準優勝
		女子	3位
	東京都専門学校バドミントン大会個人戦		
		男子ダブルス	準優勝
		男子シングルス2部	3位
2004	東京都専門学校秋季バドミントン大会団体戦		
		男子団体	3位

●少林寺拳法部

2003	少林寺拳法東京都大会出場		
	足立区大会演武会	組演武一般の部	2位
2004	大田区大会演武会	一級拳士組演武の部	3位
		一級拳士単演の部	3位
	足立区大会演武会	有段者組演武の部	3位
		一般団体演武の部	3位
2005	少林寺拳法・東京都大会男女級拳士の部		2位
	少林寺拳法国際大会東京都代表		
	少林寺拳法・大田区大会一般級拳士組演武		3位

●サッカー部

2005	東京都専門学校サッカー連盟春季大会		
		決勝トーナメント進出	
	東京都専門学校サッカー連盟秋季大会		
		決勝トーナメント進出	

●ゴルフ部

2004	東京都専門学校ゴルフ大会	団体戦	出場
		個人戦	出場
2005	東京都専門学校ゴルフ大会		個人戦
			出場

キャリアサポートセンターからの報告

昨年4月より就職部からキャリアサポートセンターと改称されてから早1年が経ちました。

長引く不況とともに進んできた雇用環境の変化の中で、この1年の間に更に雇用形態の多様化や成果主義が浸透してきました。

労働力調査（平成18年5月現在）によりますと、全国の就業者数は6448万人。完全失業者率は277万人。完全失業率は4.0%。求人倍率1.0倍と一時期と比べ回復傾向にあります。しかしながら、本校キャリアサポートセンターは、この景気回復傾向に甘んじることなく一人ひとりの学生のサポートに重点を置き、右記行事日程表の通り平成18年度の合同企業説明会等を行ってまいります。

今後とも校友会OB・OGの皆様の更なる学生へのご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。キャリアサポートセンター職員一同、平成19年3月全学生が笑顔で卒業式を迎えることが出来るよう日々努力して参ります。



平成18年度 キャリアサポートセンター行事日程表（一部掲載）

項	開催予定日	期間	行事名	参加予定	場所
1	平成18年4月17日(月)	1日間	IT・情報系 企業合同説明会	40社 実施済み	本校4F 体育館
2	平成18年4月18日(火)	1日間	インターンシップ対象等 合同企業説明会 (卒業期対象)	39社 実施済み	本校4F 体育館
3	平成18年4月25日(火) ～ 平成17年4月27日(木)	3日間	春季合同企業説明会 (卒業期対象)	404社 実施済み	PIO 産業プラザ
4	平成18年6月21日(水)	1日間	首都圏企業合同説明会 (卒業期対象)	40社 実施済み	本校4F 体育館
5	平成18年6月22日(木)	1日間	大田区合同企業説明会 (卒業期対象)	48社 実施済み	本校4F 体育館
6	平成18年9月5日(火)	1日間	医療機関合同就職説明会 (OT卒業期対象)	20病院	8号館1F カフェテリア
7	平成18年10月11日(水)	1日間	秋季合同企業説明会 (卒業期対象)	45社	本校4F 体育館
8	平成18年11月14日(火)	1日間	音楽業界合同説明会 (1年生対象)	20社	フォーラム エイト(渋谷)
9	平成18年11月16日(木)	1日間	医療機関合同就職説明会 (XK・PT卒業期対象)	45病院	本校4F 体育館
10	平成18年11月30日(木)	1日間	就職模擬試験説明会 (教職員対象)	-	マルチメディア ホール
11	平成18年12月6日(水)	1日間	演劇俳優科 劇団・プロダク ション合同説明会 (2年生対象)	35社	本校4F 体育館
12	平成19年1月12日(金)	1日間	就職模擬試験 (1年生対象)	-	各教室
13	平成19年1月17日(水)	1日間	マルチ・アニメーション合同企業 説明会 (卒業期対象)	20社	8号館1F カフェテリア



もう一つのコミュニケーション広場

「校友会ドットねっと」をよろしく

URL <http://www.kouyukai.net>

本校友会のWebサイト「校友会ドットねっと」は、充実したコンテンツや見やすいレイアウトを目指して、着々と進化を続けています。このほか、最新情報も随時掲出されており、目が離せません。今後も会員の皆様の交流・情報交換の場として、一層の充実を図ってまいりますので、どんどんアクセスしてください。皆様のご利用と情報提供をお待ちしています。

住所・姓名が変わった。そんな時は・・・

トップページの「住所・姓名変更」をクリックすると「住所／姓名変更届」画面が表示されます。卒業学科情報と名前情報の基本情報を入力してから連絡先や勤務先などの変更事項を入力して「確認」をクリックしてください。

「住所／姓名変更」画面

▽を押して表示されたリストから該当するものを選ぶ

ラジオボタンを忘れずに選択してください

住所／姓名変更届

※同時に登録されている住所・氏名の変更は可能です。
※校友会登録料は、ご変更時お支払いただく必要です。
ご変更がございましたらお知らせください。

※入力に際しての注意
入力する文字は、漢字のみのみ・英数字のみお使いください。
半角カタカナ・数字にご登録はできません。
指定以外の文字をご使用になりますと正しく登録されない場合があります。

▼この項目は更新に必要な情報でアの必ず入力してください▼

近況を知りたい、知らせたい。そんな時は・・・

トップページの「掲示板」をクリックすると、「各学科掲示板」画面が表示されます。その中の、見たい学科の掲示板をクリックしますと、その学科のOB・OGの近況が並んだ掲示板が表示されます。掲示板に投稿したい場合は、「掲示板に書き込みをする」をクリックしますと「掲示板書き込み」画面となります。卒業時の学科名や卒業年度など基本情報を入力してから「近況をお知らせください。」の箇所に近況を入力して「送信」をクリックして下さい。

「各学科掲示板」画面

投稿する場合は、ここをクリックする

各学科掲示板

掲示板に書き込みをする

工学系(電子・電気)学科掲示板

工学系(電子・電気以外)学科掲示板

情報系学科掲示板

事務局へ問い合わせしたい。 会員トクトク情報を連絡したい。 そんな時は・・・

トップページの「事務局への問い合わせ」をクリックすると、「事務局への問い合わせ」画面が表示されます。卒業学科情報や名前情報など基本情報を入力してから、「お問い合わせ内容」の箇所に問い合わせ事項や得々情報を入力して「送信」をクリックしてください。

「事務局への問い合わせ」画面

▽を押して表示されたリストから該当するものを選ぶ

ラジオボタンを忘れずに選択してください

事務局への問い合わせ

※入力に際しての注意
入力する文字は、漢字のみのみ・英数字のみお使いください。
半角カタカナ・数字にご登録はできません。
指定以外の文字をご使用になりますと正しく登録されない場合があります。

校友会Webサイトの充実を図るため、
会員の皆様からの情報をお待ちしております。
どしどし情報をお寄せください!

平成18年度3月 教職員退職者報告

永年ご指導くださいました次の先生方が、定年または一身上のご都合により退職されましたのでお知らせいたします。

氏名	所属等(退職時)	在職年数
本間 敏弘	東京工科大学 事務局研究協力部 研究所設備等運用室	40年
梅崎 幸雄	教務部学生課	39年6ヶ月
丸岡 勉	八王子専門学校 教務部	39年
吉村 浩	八王寺専門学校 芸術学部	39年
辰巳 吉秀	教務部学生相談室	37年
天野 慎思郎	八王子専門学校 教務部図書室	36年
櫻井 誠	八王子専門学校 副校長	35年
中山 浩資	片柳学園 法人本部	32年8ヶ月
市川 哲夫	芸術学部演劇俳優科	31年
小原 良夫	医療学部	25年
中島 章夫	医療学部臨床工学科	10年5ヶ月
北原 聡	マルチメディアアニメーション学部 コンピュータグラフィックス科	2年

櫻井 誠

卒業生の皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

わが学園は昭和22年創立以来、来年で60周年を迎えようとしております。この間、有意な人材を輩出し続けることが出来ましたのも、ひとえにそれぞれの分野にてご活躍の、先輩諸氏のお陰と心より感謝申し上げます。

さて、私は昭和41年10月より教壇に立ち、今年で39年に成りました。蒲田校の電子工学科、レーザー工学科、そしてメカトロニクス科と移り、平成16年より八王子校に異動いたし、今年をも



ちまして退職することになりました。

近隣の住民からテレビ学校と呼ばれた時代より、大学と、三つの専門学校を擁する、日本有数の学園に成長する過程を共に出来ましたことは、大変誇りに思うと共に、楽しい学園生活を過ごせました事に感謝いたしております。この間、沢山の学生との出会いがあり、その多くの学生たちが、現在実社会で活躍している姿を見るにつけ、教師という職業を選択して本当に良かったと心から思う次第です。これからの、残りの人生は、以前からやりたいと思っていたことを、一つひとつ実行していこうと楽しみにしております。最後になりましたが、卒業生の皆様におかれましては、ご健勝にて益々のご活躍をお祈り申し上げます、御挨拶とさせていただきます。誠に有り難う御座いました。

本間 敏弘

昭和63年より全国に支部の設立、校友会の皆さんには大変お世話になりました。今後のご発展を祈念しております。



梅崎 幸雄

昭和41年以来、無事に終えることができました。校友会では全国の皆さんと交流をさせて戴き感謝申し上げます。益々の校友会の発展と今後、少しでもお役に立てればと思っています。



丸岡 勉

卒業生の皆様お元気ですか。私も39年間の教員生活を卒業する事が出来ました。卒業生の皆様の益々の活躍を祈念しております。



吉村 浩

39年間いろいろの思い出があります。有難う御座いました。皆様の活躍を祈念致します。



辰巳 吉秀

昨日は昭和記念公園、今日は鎌倉、明日は横浜山手と旅行と写真。ソフトテニスは週3回



天野 慎思郎

36年間の学園生活を終了する事ができました。光陰矢の如しです。今後共、健康に留意し、ご活躍下さい。有難うございました。



小原 良夫

25年間の教育生活を振り返ってみて、学生の若いエネルギーを吸収し、いろいろの思い出作りが出来ましたことは私にとっての大きな宝であり、皆様には深く感謝しております。これからは体と心のリフレッシュをはかり再スタートを心掛けたいと思っております。



平成17年度 卒業式

来賓 富士ソフトABC代表取締役会長兼社長 野澤 宏 様
本校校友会会長 セントラル電子制御株式会社
代表取締役社長 桂田 忠明 様

平成17年度 日本工学院専門学校 卒業式



時代の流れをつかんで歩め

平成17年度の卒業式は3月17日(金)にパシフィコ横浜国立大ホールで盛大に挙行されました。

卒業式前日は雨、強風と大荒れの天候でしたが、当日は風こそ強かったものの、柔らかな春の陽ざしの下で式は行われました。

当日は10時過ぎから華やかな袴姿をまとった女子学生やスーツ姿の男子学生が次々とホールに集まってきました。今年度の卒業生の数は約2,600名で、当日は保護者の方々も含め、3,000名を超える方々が出席されました。

千葉 茂学校長の挨拶に続き、証書授与に移りました。各学部を代表して卒業生総代5名、優等生総代5名、資格試験で全国的に優秀な成績を取った学生、在学中に数多くの資格をした学生、国内外で顕著に活躍した学生などを表彰する特別賞4名。また、厳しい予選会を勝ち抜き、全国大会に出場もしくは上位入賞を果たした学生に贈られるスポーツ部門代表1名(対象者8名)に対する授与が行われました。壇上上がった学生達は緊張した面持ちでしたが、学校長から賞状を手渡された後、握手を求められた際には、はにかみながらも晴れやかな笑顔になっていました。来賓祝辞として、富士ソフトABC代表取締役会長兼社長の野澤 宏様、セントラル電子制御株式会社代表取締役・本校校友会会長桂田 忠明様にご挨拶いただきました。

式終了後、名残を惜しむかのように、会場内、会場周辺で共に学んだ仲間やお世話になった先生方と一緒に記念写真をとる姿が数多く見られました。



平成18年度 入学式

来賓 数学者・大道芸人 ビーターフランク 様
本校俳優・声優科声優コース顧問 神谷 明 様



夢と希望を持って

平成18年度の入学式は4月11日に日本武道館で行われました。

当日は生憎の小雨模様でしたが、牛ヶ淵と千鳥ヶ淵の桜、菜の花、紫花大根の花、そしてみずみずしい緑の葉の色合いがとても綺麗で、まさに新入生を迎えるに相応しい情景でした。

会場は約3千名の新入生と保護者の方々で一杯になり、式は学園長・理事長 片柳 鴻、学校長 千葉 茂の挨拶に続き、来賓祝辞として数学者で大道芸人でもあるビーターフランク様と、本校俳優・声優科声優コース顧問の 神谷 明先生にお祝いとお励ましのお言葉をいただきました。

ビーターフランク様はご自身の経験をふまえながら「皆さんには三つの“ゆ”を持って欲しい」と述べられていました。“ゆ”とは「夢・勇気・友人」だそうです。この三つの“ゆ”を胸に抱きつつ、希望を持って学んで欲しいということでした。

神谷 明先生は「手に職を持つことが大事である」と語られ、「どうしてもやりたいことをする」と云う強い気持ちをもって学んで欲しいと結んでおられました。

会場の新入生は、やや緊張した面持ちで来賓の方々のお言葉に頷いておりました。



第40回 かまた祭

テーマは「革新」

原点に戻り、そして新たな事にチャレンジしてみよう！
と言う想いを込めて今回掲げたテーマは「革新」。

今までに無い、新しいかまた祭を作ると言う意気
込みを持って第40回かまた祭は実施されました。

地球に優しくをモットーに今年も実施された
「クリーンキャンペーン」。リサイクルのためのゴミ
の分別回収や環境に優しいエコ容器使用の推
奨。「クリーンキャンペーン」はかまた祭の恒例
イベントになりそうです。

水上ステージとシェルステージ。3号館を挟んで
東西に設営された2つのステージで行われたイベ
ントは今回も盛り上がりました。

心配された天候も何とか持ちこたえ、雨による
影響は最小限にとどめられました。

第41回かまた祭は、近年続いた10月下旬開催では
ありません。以前のスタイルに戻り、11月3日の文
化の日に初日を迎えます。ご注意ください。



第37回 体育祭

テーマは「繋 (つながり)」

5月30日 (火)、大井ふ頭中央海浜公園にて体育祭を開催しました。

14時頃から雷雨が予想されていましたが、実行を決断しました。

会場に着く頃には青空が広がり、駐車場ゲートが、開場時間の1
時間前というのにすでに開かれています。各競技場入口もすぐ
に開錠され、準備作業を前倒しで行なうことができ、幸先の良い
スタートとなりました。

今回の体育祭では、次の3つの新しい試みを導入しました。

1日目、競技参加者増を狙い、クラスエントリー競技数を増設した。

2日目、学科を越えた出会いの場を提供する意味で、待機
場所を自由席とした。

3日目、次年度体育祭への繋がりを持たせる狙いで「工
学院レコード」を大縄飛び競技に導入した。記録へのチ
ャレンジが毎年繰り返されていく流れが出来た。

体育祭は予定通り、大きなトラブルも無く、
無事に閉会し、学生が退場した会場の上には、雲ひとつ無い青空が広がっていました。



校舎の変遷

昭和22年(1947年)5月、理事長 片柳 鴻により、大田区女塚3丁目(現在西蒲田5-31)に絵画、洋裁教育を目的に創設された「創美学園」。以来58年間の歴史を誇る校舎の変遷をたどりました。

昭和22年



創立時の校舎

昭和24年



増築校舎が完成

昭和28年



木造校舎が完成

昭和30年



増築した木造モルタル2階建て校舎

昭和33年



1号館が完成

昭和40年



2号館が完成

昭和44年



3号館が完成

昭和45年



5号館が完成

昭和47年



6号館(現在の5号館)が完成

昭和54年



7号館(現在のアントレプレナー)が完成

昭和55年



6号館(旧5号館)が完成

平成13年



8号館が完成

平成17年



アニメ・デザイン館(6号館を増築)が完成



平成18年8月現在

単科校を凌ぐ専門性と大学に負けない総合性

日本工学院は、 カレッジ制専門学校へ

2007年4月、日本工学院はそれまでの学科を再編成し、
新たに、カレッジ制に移行します。

その目的は、1947年の創立以来、長い歴史のなかで培ってきた総合性をさらに強化しつつ、それぞれの分野での専門性をより高めていくことにあります。クリエイターズ、ミュージック、IT、テクノロジー、医療、スポーツの6つのカレッジは、個々の専門性と独立性を保ち、その分野の特徴を活かすことで時代の変化にも敏感に対応。

いっぽうで、複数のカレッジが日本工学院という1つのキャンパスに集うことで、学生たちの専門を越えた交流やコラボレーションが可能となるだけでなく、カレッジや学科を超えた専門科目の履修をも可能にしました。カレッジ制総合専門学校として生まれ変わった日本工学院は、各分野のプロフェッショナルをめざすあなたの歩みを、専門性+総合性で強力にバックアップします。



医療カレッジ専用新校舎が誕生！（蒲田キャンパス）

最先端の医療環境をリアルに再現した専用校舎

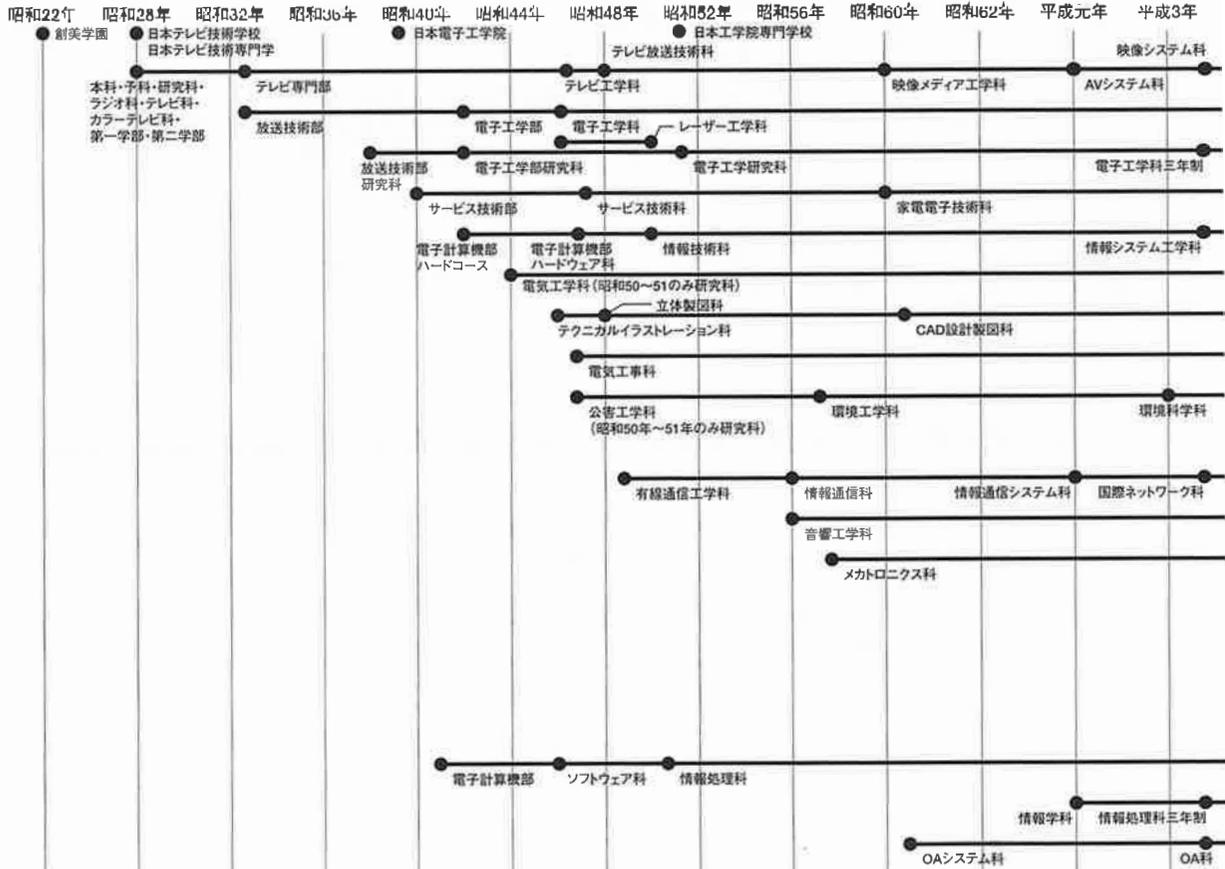


完成予定図（平成19年完成予定）

平成19年2月完成予定の医療カレッジ専用校舎では、学びながら“ノーマライゼーション（高齢者や障害者を特別扱いせず、社会に溶け込んで暮らせるようにしようという考えかた）”を肌で理解できるよう、全館バリアフリーを実現。近年のリハビリテーション技術の進歩や機器・施設の進化に対応するために、実習室には他の専門学校に類を見ない最新鋭の機材を完備しています。

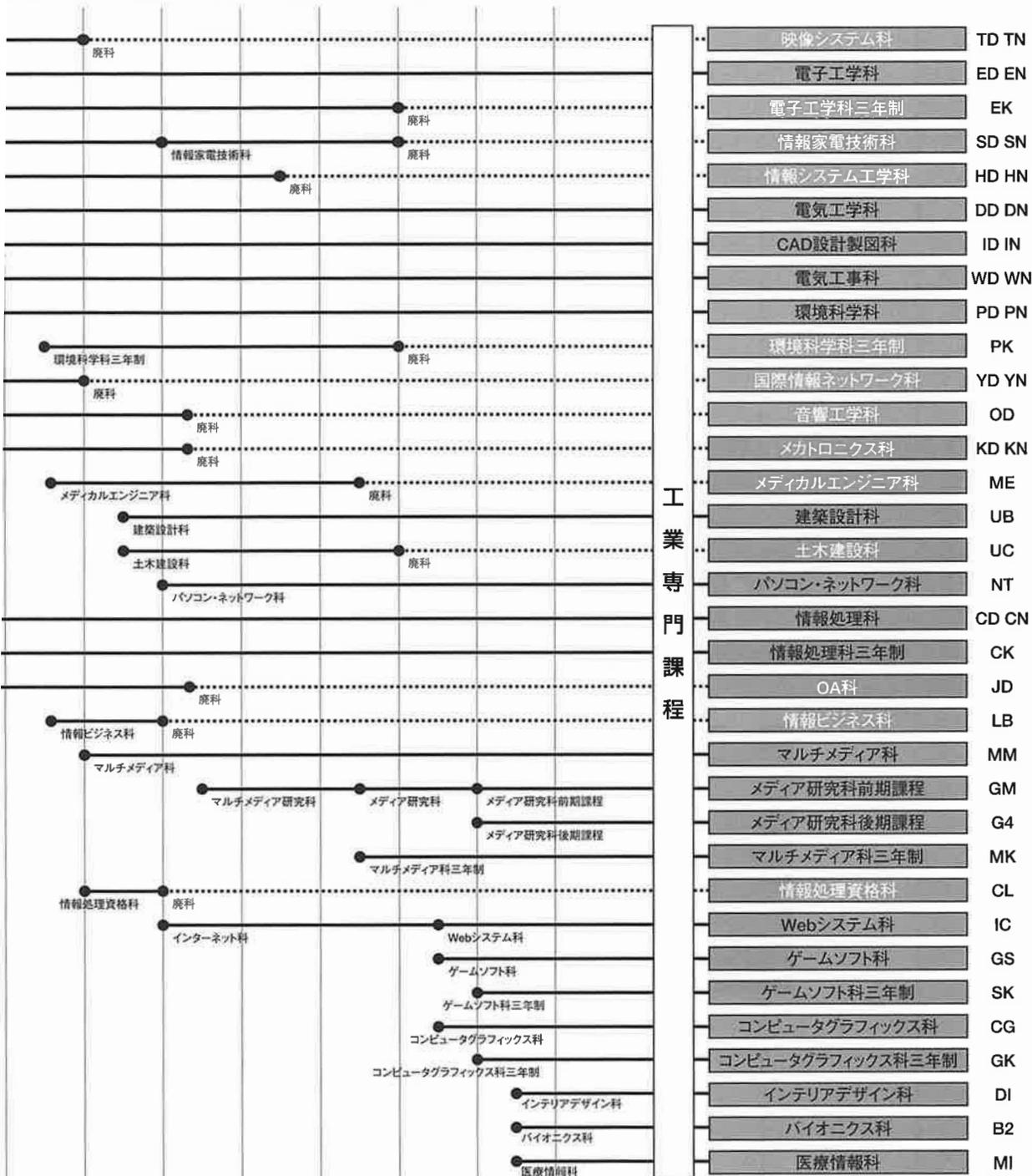
▶ 蒲田校 学科の変遷

昭和22年に創美学園として創設されて以来、半世紀以上にわたり、時代の要請に合わせた内容を革新し続けてきました。本年度より科名変更（総合アニメーション科がマンガ・アニメーション科に変更、演劇俳優科が俳優・声優科に変更）と新設学科（インテリアデザイン科、バイオニクス科）が2つ増えて33学科となり、今後も未来に視野を向けた教育が実践されていきます。

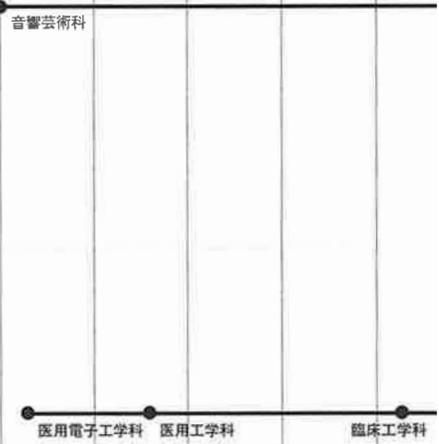


平成19年4月からはカレッジ制専門学校へ移行します。

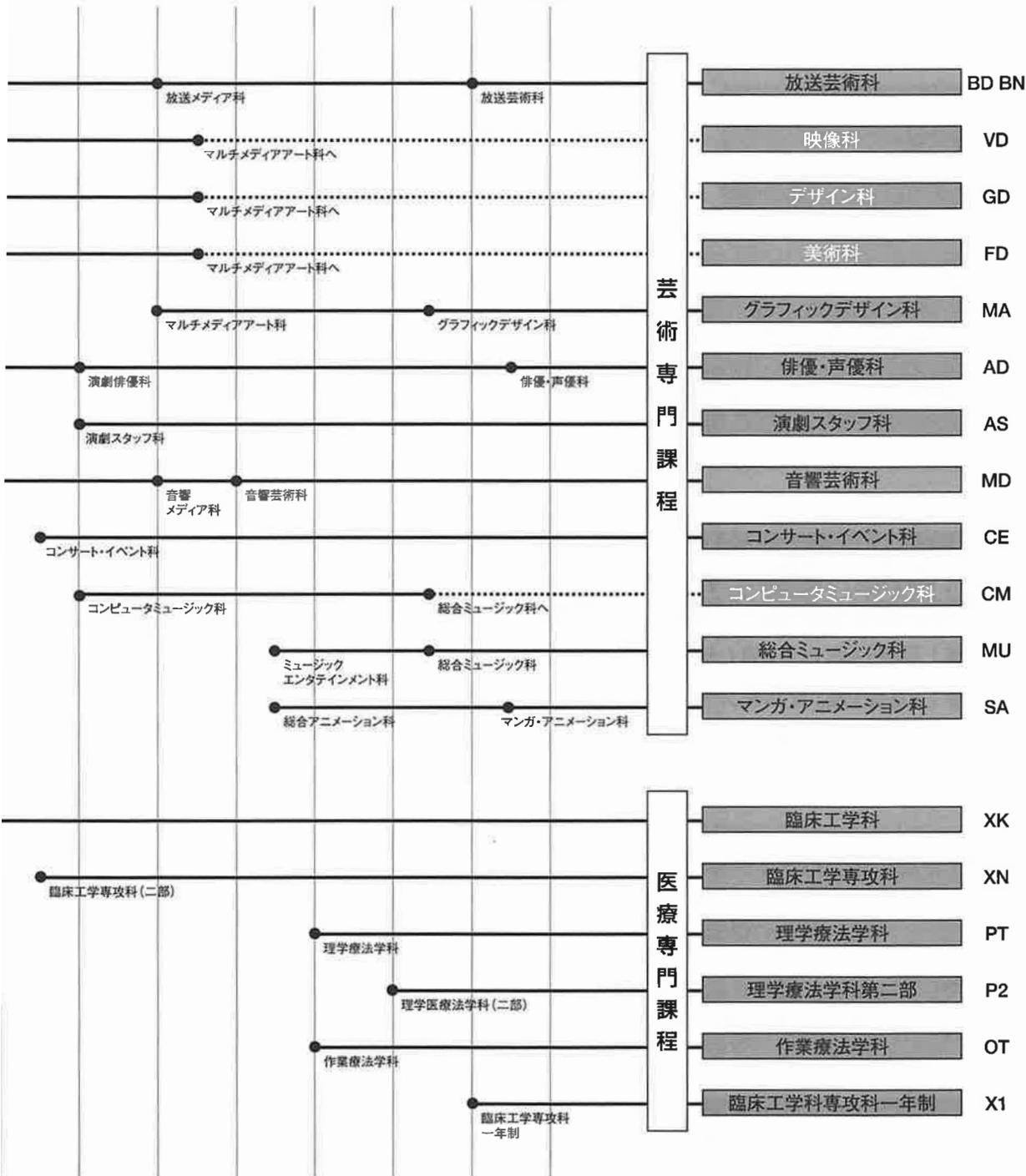
成5年 平成7年 平成9年 平成11年 平成13年 平成15年 平成17年 平成19年



昭和22年 昭和28年 昭和32年 昭和36年 昭和40年 昭和44年 昭和48年 昭和52年 昭和56年 昭和60年 昭和62年 平成元年 平成3年



25年 平成7年 平成9年 平成11年 平成13年 平成15年 平成17年 平成19年



平成18年度 かまた祭のお知らせ

平成18年度第41回かまた祭は、「LINK」をテーマに11月3日（金）、4日（土）、5日（日）の3日間で行われます。斬新なアイデアと企画で、昨年以上に盛り上げようとスタッフ一同大いに張り切っています。是非、後輩の活躍をご覧下さい。多くの方々のご来場をお待ちしております。



かまた祭 講演会のお知らせ

日 時：平成18年11月4日（土） 15:10～16:40

場 所：3号館1階「マルチメディアホール(3112教室)」

講演者：坂口 正道(さかくち まさみち) 医学博士 精神科医

内 容：「精神科」事情（アップ・ツー・デート）について



坂口 正道先生プロフィール

- 【略 歴】
- ・昭和45年 信州大学医学部卒業
 - ・平成11年 都立松沢病院 副院長
 - ・平成17年 鶴が丘病院 副院長

- 【資 格】
- ・精神科指定医
 - ・日本精神病理 精神療法学会 評議員



奮ってご参加ください!!

全国から、海外から。この1年間に、校友会事務局に届いた会員の皆さんの近況を大公開。思わぬ名前を見つけて、懐かしい顔や声が思い浮かんだり、その元気そうな様子にほっと胸をなでおろしたり…。このコーナーが、そんな温かい出会いや思いを多くの皆さんにお届けできたら幸いです。なお、誌面の都合で掲載できなかったお便りもありましたことをおわびいたします。



氏名(旧姓) 学科/期 勤務先 住所(都道府県)の順で表示しています。

工学・情報系

工藤 宣道 CAD設計製図科 第22期生
日産自動車株式会社 神奈川県

卒業以来勤務した会社を2月いっぱいまで退職し、念願のカーメーカーに中途採用してもらうことができました。我々の卒業当初は、直接カーメーカーからの求人が無く、やむなく自動車部品会社へ就職しましたが、そこでの経験が今回の採用と、仕事を進める上で、非常に強い武器となっています。最近では、モノづくりも3次元化が進み、図面レスで3Dデータだけで設計がされていますが、工学院で学んだ2次元の知識などが無いと、3Dデータの理解はかなり難しいものがあります。また、人間関係が仕事を進めるにいたり、それ以上に重要なものであると常日頃痛感しています。

佐々木 修一 環境科学科 第22期生
(株)日構シーエスエス 兵庫県

以前会社を辞めようと思っていた事もありましたが、会社の状況ががらっと変わり、思いとどまっているという状態です。衛生管理者の資格取得にむけて勉強しているところです。また、今年から新卒の人も入り、これからどんどん新卒の人を採用しようとしている会社なので、これからはもしかしたらお世話になるかも知れません。その際は直しくお願い致します。

井口 郁生 環境工学科 第10期生

昭和62年に設立した会社、(有)井口ビルメンテナンスも19期にはいりました。現在40才を超えて何を思ったのか、トライアスロンにハマっています。

榎戸 英行 環境科学科 第23期生

卒業してから10年。あの頃の皆は、何をやってるのかな～。10年経った皆の顔が見てみたいです。

右田 祥二 公害工学科 第9期生

在アスベスト問題が世間を騒がせておりますが当社は調査、対策のコンサルタントとして営業しており、毎日、国・県自治体他の対応に追われて、うれしい悲鳴をあげております。近県の方は是非一報をお待ちしております。

桂田 桂三 公害工学科 第2期生

岩手の工藤君茶道部の石川です。NO.39会誌で拝見し懐かしく。しばし当時を想いおこしました。学舎の景色は一変している様ですがいつまでも変わらないのが思い出。長い人生のたった2年間。あの頃は全てが夢中だった。交流した多くの皆さんに感謝!!
imc-ishikawa@po2.across.or.jp (会社HP)

遠藤 良浩 公害工学科 第8期生

昭和56年3月に卒業してから環境の仕事に就き、月日は早いもので24年経ちました。これからも環境の仕事に誇りをもち頑張っていく予定です。(かまた校友会誌を送って下さい。)

木本 哲生

立体製図科 第4期生

卒業して丁度30年になります。人生の中で蒲田で過ごした2年は短かったが、大きな2年間でした。毎日元気に生活しています。同窓生にも会いたいです。

高橋 幸枝

立体製図科 第11期生

自営業の為、なかなか休みがとれず出席できなくて残念です。今年で52周年目になる焼肉屋です。夫と二人、健康に働かせて頂いております。

田中 節子

立体製図科 第6期生

横溝先生も三代川先生も昔と全然変わっていませんね。ただ黒髪と白髪の違いだけです。

渋谷 周一

電子計算機部ソフトコース 第2期生

母校のHP(すばらしい!)を見る機会があり、掲示板にたどり着きました。早田先生と小山敏秀さんの名前を発見し、懐かしく思っております。ソフトコースの2期生及び特別研修生の皆さん元気に活躍中と思います。時間が有りましたら掲示板なり、メールなりで近況でも交わしましょう。

清水 精二

電子計算機部ソフトコース 第4期生

(有)マーキュリー・システムズ

3年前に先輩・後輩の方々よりご支援を頂きソフト会社を起業して、営業代行を中心に会社経営を進めております。校友会HPを時々開いて参考に見ておりますが、内容も充実して来て大勢の方の書込みも増えてきております。情報も一方通行ではなく、双方の情報交換が出来るように成ると良いのではと思っておりますので、アイデアが有れば教えてください。皆さん情報ネットワークの輪を広げようでは有りませんか!! shimizu_seiji@yahoo.co.jp

村上 弘行

電子計算機部ソフトコース 第8期生

34年も過ぎました。浦島太郎状態です。あの頃S44~46年頃『日本電子工学院』の頃、たしか「電算ソフト8期1組」と記憶しているのですが、2年間勉強して卒業したのだと思っております。私は当時「六郷土手駅」近くの多摩川寮にいました。学院際で「おでん屋」を出店させていただき楽しかったです。同級生もいまでは髪の毛に白いものが増えたんでしょうね?今、私は54才新宿新都心のあるビルで保険事務所を開業し24年になります。当時の同級生の方ごころあたりありましたらメール下さい。

山田 麻由

パソコンネットワーク科 第2期生

社団法人日本自動車販売協会連合会 東京都支部 東京自動車販売協会

就職してから3ヶ月が経過致しました。月初と月末の仕事の量に差があるものの、私なりに精一杯頑張っております。今後も今の仕事が続けられる様に日々の業務を精進していこうと思っております。

石垣 綾子

パソコンネットワーク科 第6期生

先日、校友会からのお知らせを頂戴しましたので、近況報告をします。卒業してから1年半が過ぎましたが、様々な業界を経て現在アパレル業界に勤務しております。NT科以外の学科の方は全くもって接点が無かったので、皆様のご活躍が気になります。NT科の皆様もね。今年もNT科の友人とかまた祭に行きます。先生方、お世話になります。

武田 勇一

パソコンネットワーク科 第6期生

世の中甘くないですねー!でも甘くない世の中を負けず生きれば意外と楽に生活できると思います。(笑)

能村 英夫

情報処理科 第18期生

10年前より、ソフトウェア技術者から総務担当として、採用・人事等の仕事をしています。企業合同説明会に毎年参加しております。ただし、今年は締切りの変更をしなかったので参加できず残念です。

長谷川 幸雄

情報処理科 第31期生

訳あってエンジニアから外部リソース管理に転向しました。当初、事務系の業務を想像していましたが、実際には技術的な交渉が多いので日々勉強が欠かせません。

丸田 英雄

情報処理科 第26期生

非常に充実し楽しかった学生生活を今も懐かしく思い出します。日本工学院で勉強した事を基礎と働き出してもう24年程。いまだコンピュータ関係の仕事ができる事に感謝します。CD26-1aの同級生。メールお待ちしております。丸田 maruta@valley.ne.jp 引越しましたので住所変更をお願い致します。回/年送付される校友誌をいつも楽しみにしています。

中村 廣宣

マルチメディア科 第7期生

元気に働いて3年目となります。まだ目標に向かっての半ばなのでコツコツと頑張る現在です。貴校で受けた(学んだこと)2年間無駄でなかった実証を示すのに一生懸命です。

大川戸 邦伸

マルチメディア科 第7期生

学校卒業後、現在の会社にDTPオペレーターとして勤務しています。今年で3年目をむかえ仕事にも慣れ職場の方々と楽しく過ごしています。

石田 純子

マルチメディア科 第3期生

海外青年協力隊でアフリカ・マラウイへコンピューター技術指導に行っております。任期は2年の予定です。

牛尾 雄二 ソフトウェア科 第11期生

北海道にも鍼灸科ができ優秀な鍼灸師の後輩が多く卒業される事を楽しみにしています。私も広島県の田舎で鍼灸院を開業して14年目になります。お互い頑張りましょう。

小林 仁 ソフトウェア科 第12期生

元気に過ごしています。仕事の方では新潟市との合併が3月にあり、忙しかったのですが最近落ち着きました。

今井 正典 ソフトウェア科

卒業から34年がたちました。当時から見ると信じられないくらいの情報社会になっておりますがおかげで、情報化時代に取り残されずにすんでおります。同級の方ご連絡を下さい。

大石 敏和 ハードウェア科 第4期生

多摩川寮と蒲田の学校を往復したあの頃が懐かしいです。今は平凡な毎日です。またいいものです。今回は都合で出席が出来ませんが機会があれば皆様に会いたいです。

池田 哲子 電子計算機部ハードコース 第2期生

2年前からパソコンをやり始めました。それで1週間に4日間ぐらいはパソコンで文章などうっています。東京のほうに昨年9月に友人の結婚に出席するため上京。3日間でしたけど楽しい思い出を送りました。

亀尾 浩康 メカトロニクス科 第5期生

私は貴校(専門学校)工学科メカトロニクス科5期生のOBです。私は現在うつ病で職に就いてはいません。2年程通院していますが順調に回復に向かっています。最近の貴校のご発展には目覚ましいものがあり、私も喜んでおります。今後も益々のご発展をお祈りしています。

嶋田 洋 テレビ専門部 第7期生
有限会社シマダ電器 和歌山県

7期テレビ専門部、菊池満雄君、森巨樹君、谷内隆彦君、大宮弘君、平林貢君、小佐田勉君、福島全君、皆さんお元気でしょうか。連絡お願いします。嶋田洋です。
和歌山県有田郡広川町広514 湯便番号643-0071
shimadadennki@gem.hi-ho.ne.jp

佐々木 洋一 テレビ工学科 第24期生

当時は昼間、働きながら夜の学校に通ったが、疲れ果て授業中は居眠りばかりの劣等性のため、1年間のはずが3年半もかかり、何とか卒業させて頂き感謝であり、誇りに思っています。いつも校友会誌を楽しみにしています。

小原 克 日本テレビ技術学校 本科

懐かしく思います。白衣を着た八木先生の心優しい教えに今も心に深く刻まれています。宿題で作った五級スーパーの完成に流れる「太陽がいっぱい」のメロデーが青春の思い出として、永久に忘れることは無いでしょう。お陰さまで、東芝へそして東芝商事へと、これも青春の忘れられない思い出でいっぱいです。いずれも貴校があったばかりです。感謝申し上げます。

澤田 淳一 電子工学科 第1期生
ソニーエンジニアリング(株) 長野県

卒業後、早16年になります。今現在も開発系のエンジニアをしていますが、昨年より管理職になり技術のかたわらマネジメント業務もやっています。歳とった証拠ですね。A(^_^) 少し前までは商品設計(回路設計)仕事为主でしたが、最近では要素技術開発をしつつ、開発設計技術のアドバイザー(設計コンサルタント)のような役目が多くなってきました。測定作業台と半田コテは現役で使っていますけど。さて、最近ではアナログ電子回路系の技術者が業界的に不足しています。弊社も同様な状況で、アナログ電子回路(特に高周波系)のエンジニアを多数必要としています。新卒、中途採用共に広く人材を求めています。私たちと一緒に働いてみませんか?ソニーグループの幅広いカテゴリーの仕事をやっています。
<http://www.sonyengineering.co.jp/#同期会>ってやったことないの、どこかで集まりたいですね。卒業20周年か?

武田 和良 電子工学科 第44期生

支部総会、当日日直勤務のため、何とか都合をつけようと思いましたが、残念です。全員各位のご多幸を祈念いたします。おおいに盛り上げて下さい。
PS、仕事の関係でマスコミの方に、当校OBがいないか尋ねると、カメラマンの方がいるようですが、住所変更をしていないようです。この方々を長野県支部会員として掘り起こせば、もっとにぎやかになると思います。来年も長野市でお願いします。

高森 茂 電子工学科 第4期生

今年から年金生活です。JN40LN
ダンスキチ・カメラキチで忙しくしています。

長嶋 正人 電気工学科 第9期生
兵庫県

兵庫県姫路市で細々と自営業をやっております。
夜間部と一緒に苦勞した仲間とまた会いたいですね。

内間 清之 サービス技術科 第23期生

これまで沖繩の方で勤務していましたが10/21から九州の方へ転勤します。住みなれた沖繩を離れるのはさびしいですが九州でも地元にとけこんで頑張っていきます。
(職務は大型スーパーのメンテナンスです)

芸術系

宮島 梢 総合アニメーション科 第5期生

現在アニメーション制作会社にて働いている宮島です。制作で働いているのですが、人数が足りないので制作を募集しています。卒業生の方で制作の仕事をやりたい方はどうぞご一報を。会社名はスタジオパストラル。携わった作品は、「ネギマ!」・「マイメロ」・「ウィッチブレイド」・ETC 今現在は「009-1」を筆頭にやっております。バイトは募集していませんのでご注意ください。

大橋(杉本) 京子 演劇科 第4期生

お久しぶりでございます。沙山亭の女将でございます。去年は、息子を連れて夏の体験入学に行き、うれしくてはしゃぎすぎました。真由美先生にもお会いできて、感激でした。新しい校舎もしっかり見て周り、うらやましいったら。もう一回入学したいくらいですよ、私は。来春には、息子がお世話になると思います。また、蒲田に行ける。うれしいな。

麻生 竜也 放送メディア科 第39期生

番組ディレクターとカメラマンを兼務し、放送業務に携わっています。これからもこの仕事に専念していきたいと思っています。

宮原 純 映像デザイン美術科 第1期生

卒業して早28年同期の仲間の顔がなつかしく思う年齢になりました。皆さん元気ですか？

大平 雅弘 マルチメディアアート科 第7期生

仕事を始めて半年が経ちました。会社に入ってから色々なことを学び、毎日が勉強の日々です。

左居 宗篤 デザイン科 第11期生

会社設営中。詳しくは (<http://www.sai-ada.co.jp>) 又、こんな活動もしています。 (<http://mao-fc.com>)

河田 智弘 音響芸術科 第12期生

12期音響芸術科の皆様お元気ですか。卒業して12年が過ぎ蒲田校での学生生活が懐かしく思います。蒲田での2年間は私にとって貴重な時間でした。現在は建築関係(内装)の会社を経営しています。若い子の指導、営業、現場管理などで忙しい毎日です。

益子 充郎 音響芸術科 第2期生

行政書士事務所を開業して元気に毎日走り廻っています。

高橋 昭代 音響芸術科 第8期生

6才と3才の子育てに奮闘中です。子育てって楽しいけど体力が必要不可欠ですね。もう少し若ければ…と思う今日このごろです。

佐々木 俊一 音響芸術科 第2期生

夢の職業にはつかけませんでしたが、函館に帰り電気工事の仕事で立ち上げました。2年前に結婚し隣町の上磯町で2人で頑張っております。

彌富 康雄 美術科 第15期生

校友会誌ありがとうございます。現在漫画家として?双葉社アクションピザッツ誌にて連載中。7月に単行本出しました。(ペンネーム 原 茂之)

中村 美水 美術科 第8期生

千葉県

卒業してもうかなりの長月がたちました。仕事もやめ主婦業なので、学校で学んだ事は子供との遊びの中で活用!!夏休みの絵画などについて口をだして下さる事がられます。

山口 和祐 放送制作芸術科 第5期生

卒業後、放送業界を経て、現在営業職に就いています。まるで畑違いですが、....。人、様々、人生様々ですね。

清水 透 放送制作芸術科 第3期生

私がディレクターとしてロケに出掛ける時、カメラアシスタントは大抵工学院の後輩でした。ロケ地到着まで車内で盛り上がります。編集でもMAでも、担当は大方後輩でした。仕事を始めるまでに思いつく話で時間がかかります。でもそんな時、嬉しいやら誇らしいやら...。現在も二人のADは揃って後輩です。卒業生に優秀な人材が多いのは我が校の昔からの伝統ですが(?)、現場で会う彼らもなかなか優秀です。しかし彼らの卒業したのは「放送芸術科」?。変わってしまったんですね。これも時代の要請なのでしょう。「放送制作芸術科」卒業の方、特に3期の皆さん!お元気ですか!!

木村 典治 放送制作芸術科 第7期生

2年前始めて秋田支部校友会に参加しました。高橋支部長はじめ皆様ありがとうございます。今回は出張のため出席できず残念です。前回は沼澤先生も秋田に来ていたとのことで先に帰られて残念です。放芸7期の皆様お元気でしょうか?なつかしい!いつか、またお会いしましょう。

新名 君代 放送制作芸術科 第3期生
沖縄県

引越しました。熊本県が盆地とは知りませんでした。東京から持って来た「観葉植物」が、玄関なのに冬は「凍死」！朝7時でも真っ暗。夏は高湿度地獄で冷房入れっぱなし！夜は8時前でも空は明るい！黒潮がないと同じ九州（出身 宮崎）でも、こんなにも違うものかと驚きます。

川崎 淳 放送制作芸術科 第4期生

人材派遣会社に所属し、勤務地は東京F.M。水曜深夜と土曜深夜に生放送（ミキサー）を担当しています。私が工学院在学中、デビューしたサザンオールスターズの桑田さんと今、一緒に仕事をしています。よかったら聞いて下さい。

須賀 弘美 放送制作芸術科 第19期生

主人の転勤で東京に戻ってきました。同期のみなさんは是非会いましょう。

渡辺 一雄 放送制作芸術科 第5期生

蒲田校舎の増床と改修工事が行われたようですが、片柳学園の教育設備にお金を惜しまない方針に感慨無量なる思いがしました。

中村 治正 放送制作芸術科 第1期生

アフラック保険の代理店を始めました。全国的に求人しますので、よろしかったら、ご応募、知人等に紹介下さい。履歴書はFAXで022-252-9553。追って連絡します。7年後には年収100万円以上も可。

宮田 弘行 放送制作芸術科 第5期生

卒業制作「恋の冷凍保存」あれから24年（25年）なつかしいなあー！又蒲田で飲みたいねえー。

小笠原 輔則 放送制作芸術科 第2期生
(株)アスク

リストラされ早2年。北海道は今だに景気は良くありません。各先生、諸先輩方々ご協力お願いします。当方撮影技師20年歴です。恥ずかしながら「どさん子の会」にも出席できません。

西田 豊 放送制作芸術科 第9期生

フリーカメラマンになって17年になりました。最近ではNHKや民放局のドキュメンタリー番組の撮影をすることが多く、世界各国を飛び回る毎日です。

角 和幸 放送制作芸術科 第2期生

卒業をしてかなりの年月がたちます。学校で勉強をした職種で卒業からずっと続けています。今では音響会社トップで頑張っています。一度、同窓会をしたいものです。懐かしい仲間と色々話しが出来れば、良いですね！！

田中 博和 放送制作芸術研究科 第9期生

平成15年より新規に会社を立ち上げました。テレビ番組・CM・企業ビデオ編集を中心とした技術会社です。大阪・東京にも拠点を設けました。

鈴木 郁夫 放送制作芸術科 第5期生

コンピューター・通信ネットワーク・インターネットサービスプロバイダなど、情報技術全般に係るIT企業のシステムインテグレイト業務を行っています。

金尾 光高 放送制作芸術科 第11期生

ブレーンと独立して3年目。なんとかがんばってます。

心からご冥福をお祈り申し上げます。

校友会会員の次の方々の訃報が届きました。

滝沢美智夫さん	昭和54年	放送制作芸術科	3期卒業	
大鐘 理賀さん	昭和58年	放送制作芸術科	7期卒業	平成16年6月没
川喜田真吾さん	平成8年	放送制作芸術科	20期卒業	平成16年11月25日没
竹下 泰司さん	昭和53年	放送制作芸術研究科	1期卒業	平成15年1月没
吉川 憲治さん	昭和50年	電算部ソフトウェア科	14期卒業	
菊地 利枝さん	昭和53年	情報処理科	20期卒業	
秋田 信治さん	昭和54年	情報処理科	22期卒業	平成16年1月24日没
眞見 伴子さん	昭和58年	情報処理科	26期卒業	平成18年6月4日没
宇野 基広さん	平成1年	情報処理科	32期卒業	
六鹿 晶子さん	平成4年	情報処理科	35期卒業	
松里 直樹さん	平成18年	情報処理科三年制	15期卒業	平成18年5月1日没
富永 満さん	昭和53年	電気工学科	14期卒業	平成8年11月22日没
前田 守さん	昭和56年	電気工学科	18期卒業	平成18年1月6日没
篠塚 実さん	昭和57年	電気工学科	19期卒業	
落合 修一さん	平成8年	電気工学科	33期卒業	平成17年6月没

伊藤 征二さん	昭和37年	放送技術部	6期卒業	平成17年4月8日没
鈴木 仁さん	昭和50年	電子工学科	33期卒業	
中村 博信さん	昭和51年	電子工学科	35期卒業	平成17年1月11日没
宮澤 元久さん	昭和52年	電子工学科	36期卒業	平成17年7月没
岡田 尚子さん	平成11年	電子工学科	60期卒業	平成18年4月没
綿引 健さん	平成1年	メカトロニクス科	5期卒業	平成16年4月3日没
森山 浩さん	昭和60年	音響芸術科	3期卒業	平成17年7月3日没
青木 隆一さん	昭和62年	音響芸術科	5期卒業	平成13年4月11日没
雫沼 滋さん	平成10年	マルチメディア科	2期卒業	
高橋 良二さん	昭和59年	音響工学科	2期卒業	平成12年12月没
赤井 智明さん	昭和56年	公書工学科	8期卒業	平成16年8月4日没
神田 友子さん	平成7年	家電電子技術科	41期卒業	平成8年5月9日没
伊東 達也さん	平成12年	電気工学科	28期卒業	
大橋 敦美さん	平成10年	臨床工学専攻科	3期卒業	

臨床工学科&臨床工学専攻科&臨床工学専攻一年制&医用電子工学科 同窓会開催報告

寒冷の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、去る11月20日(日) 第2回 日本工学院専門学校 臨床工学科同窓会が行われました。

特別講演として「医療安全とヒューマンエラー」を聖路加国際病院 寺井 美峰子さんをお願いいたしました。また、「院内教育における臨床工学技士の役割」～臨床工学技士だからできること～を題材に、同窓生講演を東京都老人医療センター 堀 典子さん(XK11期)と榊原記念病院 田邊 克也さん(XN02期)のお二方に講演をしていただきました。どの講演も臨床工学技士として働いていくために興味深い講演内容でした。勉強になったと多くの方のアンケートに記載されていました。

また、休憩時間にはロビーにて協賛していただいた企業6社が機械やパネル展示を行いました。普段の学会とは違い、呼吸器と透析のコンソールが隣にあって、企業さんも普段と違う雰囲気の中で展示が出来たそうです。

そして、講演後の懇親会では仲間たちが楽しく近況報告や懐かしい話をして大変盛り上がっていました。

今回、参加できなかった方も次回同窓会にはぜひご参加いただければと思います。



日本工学院 臨床工学科内
同窓会事務局：佐々木淳・若林恵美・佐久間なつ紀
E-mail：kmt-xk@neec.ac.jp
TEL：03-3732-6391

第一回電気工学科同窓会開催報告

平成18年2月25日(土)に第一回電気工学科同窓会を開催いたしました。学科設立36年目にして、初めての同窓会ということもあり、一体何人位の卒業生に参加して頂けるか不安でしたが、当日は、1期生から42期生まで、総勢70名の卒業生にお集まり頂き、とても盛大な会となりました。また、卒業生だけでなく、千木良先生、佐々木先生、大谷先生、蛸子先生、酒井先生、安田先生、長田先生、斉藤先生、菅原先生という歴代の先生方にもお越し頂き、旧友のみならず、恩師とも旧交を温められたことと思います。会は二部構成で行われ、第一部は3112マルチメディアセンターにおいて、学院・学科の近況報告、教員紹介、千木良先生の学科創設時のお話、キャリアサポートセンターからのお願い。第二部は2号館地下食堂へ会場を移しての懇親会と、とても楽しく、懐かしく、短く感じられる3時間半でした。今回の同窓会の成功により、第二回、第三回と続けていきたいと考えていますので、今回参加した方はもちろん、出来なかった方にも次回は参加頂き、さらに盛大な会にしたいと思います。



公害工学科・環境工学科・環境科学科・環境科学科三年制 卒業生の集い

平成18年12月2日(土)午後 蒲田校にて実施いたします。

これまでにお世話になった先生方の出席も予定しております。

友達をお誘いの上お集まりください。詳細は後日連絡いたします。

問い合わせ先: kanada@neec.ac.jp (金田 彰二) TEL:03-3732-6391 (教員室直通)

テレビ放送技術科26期 有志による親睦会の報告

応用工学部テレビ放送技術科26期(昭和50年度)1組卒業生の皆さん、お元気ですか!

私達は有志で親睦会を定期的に開催しています。当時の担任だった松尾勇市先生を中心に毎年二度ほど各地から10~15人が集まり、近況を語りながら親睦を深めています。

蒲田近辺で実施することが多いのですが、時には一泊で三浦海岸に出掛けてみたり、昨年は同級生がやっている居酒屋を訪ねて佐渡ヶ島まで楽しく行って来ました。

松尾先生も定年を迎え、我々も晴れて(?)50歳になり、今迄は仕事の愚痴を語りながら一杯やっていましたが、最近では健康や身体についての情報交換の場になってきました。

今年の秋には、やはり同級生を訪ねて北海道に出掛ける予定です。26期1組の皆さん、ぜひ仲間に入って楽しい時間を過ごしませんか?

kasuo@nifty.com迄、ご連絡下さい。待ってま〜す!



●写真は、佐渡ヶ島にある同級生の店の前で撮りました。

OBに作曲家!!!



その人は…学籍番号・TD11-3343(昭和43年3月卒)長谷川 博順(ヒロノブ)氏

氏は在学中から音楽を愛しブラックノート・オーケストラ(日本電子工学院音楽部)に在籍し、卒業後は実家の家業を継ぎました。落ち着いた間もなく音楽の才が目覚まし、本業の傍ら着々と作曲の世界にはまり込んだようです。

(社)日本作曲家協会と(社)日本音楽著作権協会の会員にもなって活躍してまいりました。

作曲家としてデビュー十五周年を迎えた昨年、その功績を祝うとともに一層のご活躍を祈って記念パーティーが催されました。

発起人代表が 会場を 地元会津若松市の「会津若松ワシントンホテル」に

日時を平成17年9月5日、18時30分開会と決定。

当日は作曲家・宮川つとむ氏、作詞家・近藤しげる氏、所属する(株)アクセスエンタテインメントから社長兼プロデューサー・茂木省造氏、その他のお世話になっている皆さんからお祝いと今後の活躍を期待するお言葉を頂戴し、ついでプロ歌手が彼の作品を熱唱し会場は一層熱い雰囲気につつまれました。

最近の発表曲は…「居酒屋演歌」

…「河津桜音頭」(河津町)

…「あなたの ふるさとだから」(新潟県)

…「冬の海」

目先の発売予定は4月7日…「望郷北国」(岩手県)

5月12日…「大漁おんな太鼓」

平成18年2月8日 文責・引地 清(昭和35年3月 放送技術科卒)



自宅・事務所

(有)長谷川商會が家業で、長谷川音楽事務所を兼ねています。

作曲家名…長谷川ひろのぶ

〒969-4406 福島県耶麻郡西会津町野沢字上原乙2464

Tel & Fax: 0241-45-3839 E-Mail: abh-0608@axel.ocn.ne.jp

現役学生たちの活躍

先生や友人のおかげで苦手分野を克服し、 技術者を目指して資格取得に挑戦しています。

専門学校生であった2年間を統括するならば、「資格」の二文字に極まるような気がします。私は根っからの文系人間であり、数学は苦手で、物理に至っては一度も勉強したことがありませんでした。しかし何故か縁あって電気の世界に首を突っ込むことになってしまいました。数式を見ると虫酸が走るような人間でしたので、学校の勉強についていけないのかどうか非常に不安なままのスタートでした。

入学してから、とりあえず資格の種類について調べることから始めました。なにが必要な資格なのか、取得要件はどうなっているのか、難易度はどうか、試験日はいつか等々調べ上げました。そのうえで、どういう順序で取得していくのが得策か、を大まかに計画しました。

あとはその調整をしつつ、勉強をしていくという単調な作業でした。自分の性格上、こつこつやるタイプではありませんので直前に短期集中型の勉強で乗り越える作戦でした。

また日常、買い物についてはスーパーの消防設備に目を配り、立体駐車場では配管を凝視し、電柱や鉄塔を見上げながら帰るといった具合に、普段身の回りにあふれている設備に興味を盛り立てるように工夫しました。

その結果、2年間を振り返れば、電験三種・エネルギー管理士・消防設備士全類、二種冷凍・工事担任者・一種電工ほかたくさん資格取得が出来ていました。

決して平易な道のりではありませんでした。先生方や友人の支えがあってこそ出来たことだと思います。自分自身では有る程度の目標を達成したこともありますが、立派な先生方や、信頼できる友達をもてた幸せも感じることができ、感無量です。これからもこの2年間で培ったことを糧に、資格取得に邁進していきたいと思います。

ある先生曰く、「資格は必要条件、十分条件には成り得ない」。初心を忘れず実学を学び、必要十分といえるような技術者を目指して頑張ります！



電気工学科43期
山崎 顕示さん

平成17年度第一回臨床工学技士統一模擬試験で 全国1756名の頂点に立つ!!

彼は日本生体医工学会の主催する第2種及び第1種ME実力検定試験双方に在学中合格し、昨年12月には日本臨床工学技士教育施設協議会主催の第一回全国統一模擬試験において、前年の受験者を129名上回る全国1756名の頂点に立ちました。この試験は午前90問、午後90問をそれぞれ2時間半、計5時間かけ一日がかりで実施される国家試験に準じた模擬試験であり、この試験で彼はそれぞれ90点満点中、午前88点(全国平均51.7点)、午後88点(全国平均50.3点)と極めて高い成績を収めました。臨床工学科からは前年度にも1位取得者を輩出しているが、今回の成績はそれをも凌ぐ快挙であり、学校からも特別賞が本人に授与されました。今は大学病院にて臨床工学技士として働く毎日、今後の活躍にも期待がもたれます



臨床工学科22期
入江 健一さん

アニメーション科卒業生が続々デビュー

総合アニメーション科4期生の宝井沙織さん(マンガ・コミックコース)が2006年6月に、「MANGA MOODS」(発売元: 有限会社ジャパニメ)という絵本で全米デビューをしました。この絵本は、日本語と日本のマンガ・イラストを紹介する目的で、女の子のいろいろな表情を描いた40枚のかわいいイラスト集で「Happy」「Comfortable」などの表記で紹介されています。現在アメリカで\$15で市販されていますが、日本でも洋書専門店やネットから買えますので、是非手に取ってみてください。他にも、「マンガでわかる小学生のはじめての英語」(世界文化社)などのイラストなど、イラストレーターとして活躍。将来が楽しみなクリエイターです。

*ホームページ「CUTIE」<http://smile.poosan.net/cutie/> オリジナルのイラストを展示しています。

また、総合アニメーション科5期生福山由依さん(マンガ・コミックコース)が少女漫画誌「デザート」(講談社)7月号(5/24発売)で佳作を受賞、見事デビューが決定しました。増刊号に受賞作が掲載されています。今後の活躍が楽しみです。

OB推薦制度が発足

本校は昭和22年設立以来、常に時代の要望にこたえる人材育成に献身いたして参りました。現在は工学、情報、マルチ・アニメーション、芸術、医療の5学部、31学科を有する総合学園となりました。卒業生総数は約17万名にも上り、色々な分野で活躍され、学生の就職等で卒業生の皆様方には日ごろ大変お世話になっております。

本校もまもなく創立60周年を迎えます。その記念事業の一環として卒業生の皆様方の子女、兄弟姉妹が本校に入学される際の入学金を免除いたします「OB推薦制度」を平成18年度入学生より発足しました。

【OB推薦制度】

この制度は、学校法人片柳学園の卒業生子女、兄弟姉妹、在校生の兄弟姉妹が、入学する際、入学金を免除する制度です。

- 対象校・・・日本工学院専門学校、日本工学院八王子専門学校、日本工学院北海道専門学校
- 対象者・・・日本工学院専門学校、日本工学院八王子専門学校、日本工学院北海道専門学校および東京工科大学を卒業した者および在籍している者が推薦する孫、子女および兄弟姉妹
- 免除額・・・入学金全額(北海道校はお問い合わせください)
- 開始年度・・・平成18年度入学生より
- 案内書・募集要項ご請求・・・広報課 0120-123-351
- OB推薦書類ご請求・・・教務課 03-3732-1121

「起業家人材育成について」 講演のお知らせ

2006年11月4日(土)
かまた祭にて

東京工科大学大学院ビジネススクール・
アントレプレナー専攻長 教授 尾崎 弘之

東京工科大学大学院ビジネススクール・アントレプレナー専攻は、アントレプレナー（起業家）養成に特化したユニークな大学院です。ベンチャー企業の設立を計画している起業家候補、新規事業を考えている中堅企業経営者、大企業の社内ベンチャー担当者等、現在約70名の大学院生が学んでいます。工学院のOBも多数在籍しています。

11月4日(土) 14:30~15:00 マルチメディアホール(3号館1階) かまた祭において専攻長の尾崎教授が、「起業家人材育成について」というテーマで、起業家教育の実態と今度の展望について講演いたします。卒業生で将来起業を考えられている方は是非、この機会に講演をお聞きください。

かまた題字作家紹介

本校校友会誌の表紙題字は人間国宝の芹澤銈介(セリザワ ケイスケ)先生の筆によるものです。先生は本校1号館、6号館東側に流れる呑川の支流約150mに架かる馬引橋近くに、昭和9年から居を構えられ、爾来50年にわたって蒲田の地で型絵染の創作活動に没頭されておられました。昭和42年(1967年)10月発行の日本電子工学院校友会(校友会の前身の名称)会誌第2号以来表紙を飾っています。



芹澤 銈介 先生 略歴

- | | | | |
|-------------|--|-------------|---|
| 明治28年(1895) | 静岡市に生まれる。 | 昭和24年(1949) | 女子美術大学教授となる。 |
| 大正5年(1916) | 東京高等工業学校図案科卒業。 | 昭和31年(1956) | 型絵染で重要無形文化財保持者(人間国宝)の指定を受ける。 |
| 大正14年(1926) | 朝鮮の旅に出て京城及び慶州仏国を訪れる。往路、船中に「大調和」誌の口絵及び柳宗悦氏の「工芸の道」に感動、生涯の一転機となる。 | 昭和38年(1963) | 大原美術館工芸館第二期の棟方・芹澤両館落成。 |
| 昭和3年(1928) | 沖繩紅型に感銘を受ける。 | 昭和41年(1966) | スペインのバルセロナにあるカタルーニャ美術館を訪れ、永年の念願を果たす。その程復途上、エジプト、トルコおよび欧州各地を巡遊。紫綬褒章を受ける。 |
| 昭和6年(1931) | 雑誌「工芸」が創刊され、その表紙を一年間愛持つ。その型染布表紙は装幀の仕事への端緒となる。 | 昭和51年(1976) | 文化功労者となる。フランスの国立グラン・パレ美術館において「芹澤 介展」開催。 |
| 昭和7年(1932) | 国画会会員・川端康成「雪国」装幀。 | 昭和58年(1983) | フランス政府から芸術功労勲章を贈られる。 |
| 昭和9年(1934) | 東京蒲田町に移る。初めて仕事場に恵まれる。 | 昭和59年(1984) | 4月5日死去(享年89歳)。 |
| 昭和13年(1938) | 柳宗悦氏他民芸同人と共に沖繩に渡り紅型の技を受ける。 | | |
| 昭和20年(1945) | 型染めカレンダー創始。 | | |

個人情報保護についての取組み

日本工学院専門学校校友会(以下校友会)では、個人情報保護法に基づき会員の個人情報の保護について、以下の取組みを実施しております。

- ① 校友会が保有する個人情報の適正な取扱いをするために、個人情報の保護に関する規程を定めました。
- ② 会員の個人情報は、必要な情報のみを適正かつ公正な手段によって収集させていただいております。得られた個人情報は、校友会誌「かまた」の発送ならびに学校法人片柳学園日本工学院専門学校および姉妹校(以下学校)からのお知らせを発送する際に利用いたします。また、会員に対する校友会窓口(koyukai@neec.ac.jp)を明示し、会員からの連絡が速やかに受けられるように致します。
- ③ 校友会では、会員よりいただいた個人情報を適切に管理し、会員本人の同意がない限り、校友会以外の第三者に対する個人情報の提供は致しません。
- ④ 個人情報の取扱いを含む業務を委託する場合は、受託者との間で契約により個人情報の再提供・漏洩などをしないよう義務づけを致します。
- ⑤ 会員が自己の個人情報に関して、開示・修正・変更等を希望される場合には、校友会窓口(koyukai@neec.ac.jp)までご連絡いただければ、迅速に対応致します。
- ⑥ 校友会では、上記①～⑥の項目について、見直し・改善の必要が発生した場合には、適宜対応していきます。

東京工科大学大学院ビジネススクールアントレプレナー専攻 経営を学んで、社長をめざせ！

東京工科大学大学院ビジネススクール アントレプレナー専攻は先端科学技術に明るく財務の知識と戦略的思考を身につけた起業家を、専攻独自の実践的カリキュラムを通じて育成します。

「起業」をキーワードに問題意識が高く、意欲旺盛な学生が参加しています。少人数制で行われる双方向参加型授業では、実社会の事例を教材とし、討論や対話を重ねさまざまな実践的知識を獲得することが可能です。これらの授業は企業のトップ経営の経験があり、国内外で経営学、経済学、または工学分野で博士号を取得した教授陣で行われます。

仕事と両立させながら、便利な場所で学び、起業に必要な知識を身につけ、人脈を広げたいと考えている方にお勧めします。

アントレプレナー専攻の特色

- 日本工学院専門学校卒業生も本専攻にて勉強中。
- 蒲田キャンパスにて平日夜間・土曜日中心に授業開講。働きながら学べます！
- 入学金25万円を9万円に減額(本学校法人設置校出身者に限る)。
- 修士に挑戦！大学を卒業していなくても出願可能。
22歳以上であれば、事前審査を経て本学大学院の出願資格を得ることができます。事前審査は、大学院課で随時受け付けています。

【平成19年度入試概要】 入試相談は随時、大学院課(042-637-2115 grad@so.teu.ac.jp)にお問い合わせください。

	出願期間	面接試験日	合格発表日
A日程	平成18年8月21日(月)～9月7日(木)	平成18年9月17日(日)	平成18年9月22日(金)
B日程	平成18年11月9日(木)～11月30日(木)	平成18年12月10日(日)	平成18年12月15日(金)
C日程	平成19年1月18日(木)～2月8日(木)	平成19年2月18日(日)	平成19年2月23日(金)

●選考方法

- 一般入試と社会人入試の2種類の入試形態があります。
実務経験が2年以上ある方は、社会人入試により出願することができます。
[一般入試] 書類審査(出身校の成績・研究計画書)と面接試験によって選考。
[社会人入試] 書類審査(実務経験等を記載した履歴書・研究計画書)と面接試験によって選考。

●学費(OBに対する入学金の減額措置あり)

- ・入学金：250,000円(本法人設置校出身者は90,000円)
- ・授業料：1,095,000円(1年目)／1,115,000円(2年目以降)
- * 授業料は上記の年額1/2ずつ分納としますが、1/4ずつの分納も可能です。

他にバイオニクス専攻、コンピュータサイエンス専攻、メディアサイエンス専攻があります。パンフレット・募集要項は無料です。

<https://www.teu.ac.jp/siryoku/grad/> からご請求ください。

東京工科大学大学院課 <http://www.teu.ac.jp/grad/>

TEL 0426-37-2115(直) E-mail:grad@so.teu.ac.jp

<八王子キャンパス> 東京都八王子市片倉町1404-1 <蒲田サテライトキャンパス> 東京都大田区西蒲田5-22-11

アントレプレナー専攻で日本工学院卒業生が勉強中です

専門知識を生かした新事業で、社会に貢献していきたい。

薄井 明英さん

アントレプレナー専攻(修士課程)1年

1982年 日本工学院専門学校 サービス技術科卒業



現在、外資系の半導体メーカーで民生機器用半導体の企画・開発に携わりながら、東京工科大学大学院アントレプレナー専攻で学んでいます。授業は月、金曜の夜と、土曜の昼間の週3回。仕事との両立は大変な面もありますが、私と同じ社会人の学生もたくさんがんばっていますし、自分が好きなことを学んでいるので精神的には充実していますね。

これまで私は、省エネ向けの半導体開発などを通して、微力ながらも地球環境や社会のために貢献してきたという自負があります。こうした経験を重ねるうちに、次は半導体技術とロボティクスやバイオメカトロニクスの技術などを組み合わせて、人間の福祉に貢献するロボット開発に携わり、世の中に普及させたいと考えるようになりました。そこで、夢を実現するには、まず異分野の技術を融合して新しい事業を起こすノウハウを身につけることが大切だと思い、この専攻に入学したのです。

実は以前から、いろいろなベンチャー関連のオープンセミナーなどに参加していたのですが、いつも内容に物足りなさを感じていました。その点、このアントレプレナー専攻のカリキュラムは、ベンチャーに必要な知識を深く学べるよう配慮されており、手ごたえは十分。新商品の販売シミュレーションの仕組みや、今後ますます重要になるであろう企業倫理の問題など、私が関心を持っていた内容についてもしっかり学ぶことができます。

この専攻には、いろいろなカルチャーや経歴を持つ人間が集まっており、しかも2年間じっくりとつき合いを深められます。ここで出会った仲間と一緒に、修了までにひとつくらい会社を起こせたらいいですね。

経営者として求めていたものが、すべてここにありました。

阿部 秀嗣さん

アントレプレナー専攻(修士課程)1年

1982年 日本工学院専門学校 情報技術科卒業



日本工学院を卒業後はソフト会社に就職し、一度の転職を経て、1990年にソフト開発やITコンサルティングを手がける会社を設立し現在に至っています。数年前までは、自分自身が先頭を切って現場の業務をこなしてきましたが、社員も20名ほどとなり、最近ようやく本来の社長業に時間を割く余裕が生まれてきました。そこで痛感するのは、財務・営業・人事・経営戦略など、社長として必要な知識の欠如でした。これまではSEとしての仕事さえこなせば会社の運営に問題はありませんでした。経営計画などを立てていく中で、会社を「運営」することと「経営」することには大きな違いがあることに気づきました。そのようなときに、これらの知識を身につける格好の場であるアントレプレナー専攻が、私の地元である蒲田に開設されると聞き、ぜひ、この機会を活用したいと思い入学することにしました。

実際に学んでみるとカリキュラムのすべてが実践的で、まさに自分が求めていた内容でした。「人は必要なときに必要なものに出会う」ということを実感しましたね。この専攻の魅力は仕事をしながら学べるという点と、少人数なので質疑応答のやり取りが十分にできるということ。履修している科目はすべて有意義ですが、とくにオムニバス形式で業界の著名な方々が講義をしてくださる授業は毎回エキサイティングです。

大学院に興味のある方は、インスピレーションを感じたら思い切って飛び込んでみていいのではないのでしょうか。私の場合、あまり迷ったり悩んだりせずに決めましたけれど、入学して良かったと思うことばかりですからね。

学校法人 片柳学園のOB・OG推薦による入学金免除制度設置

学校法人 片柳学園 (日本工学院専門学校・日本工学院八王子専門学校・日本工学院北海道専門学校・東京工科大学) の卒業生の子女・兄弟姉妹、在籍生の兄弟姉妹が入学する際に、入学金が免除される制度を設置しています。



日本工学院専門学校

〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22
TEL.03-3732-1111 (代表)
URL <http://www.neec.ac.jp/>

クリエイターズカレッジ

放送・映画科
声優・俳優科
(声優/俳優/ナレーター/舞台スタッフ専攻)
マンガ・アニメーション科
CG・Webデザイン科
グラフィックデザイン科
ゲームクリエイター科
クリエイティブラボラトリー(4年制)★
(CG/ゲーム/アニメロボ)

ミュージックカレッジ

ミュージックアーティスト科
(プレイヤー/ヴォーカリスト/作曲 編曲コース)
コンサート・イベント科
レコーディングクリエイター科
(レコーディングエンジニア/MAエンジニア/
Pro Toolsエキスパートコース)
ダンスパフォーマンス科★

ITカレッジ

ITスペシャリスト科 (4年制)★
(システム/Web/ネットワーク/セキュリティ専攻)
情報学科
(プログラミング/Web/ネットワーク/
セキュリティ/パソコン/ビジネスコース)

テクノロジーカレッジ

電子・電気・CAD科
(電子工学/電気工学/電気工事/パソコン・ネット
ワーク/機械設計・CAD専攻)
建築設計科
インテリア・プロダクトデザイン科
バイオニクス科
(医薬バイオ/化粧品バイオ/食品バイオ/
環境バイオ専攻)

医療カレッジ

理学療法学科 (夜間あり)
作業療法学科
臨床工学科
臨床工学専攻科 1年制
臨床工学専攻科 (夜間)
医療情報科
(医療秘書/医療情報コース)

★2007年度新設



日本工学院八王子専門学校

〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1
TEL.042-637-3111 (代表)
URL <http://www.neec.ac.jp/>

クリエイターズカレッジ

放送・映画科
声優・俳優科
(声優/俳優/ナレーター/舞台スタッフ専攻)
マンガ・アニメーション科
CG・Webデザイン科
グラフィックデザイン科
ゲームクリエイター科
クリエイティブラボラトリー(4年制)★
(CG/ゲーム/アニメロボ)

ミュージックカレッジ

ミュージックアーティスト科
(プレイヤー/ヴォーカリスト/作曲 編曲コース)
コンサート・イベント科
レコーディングクリエイター科
(レコーディングエンジニア/MAエンジニア/
Pro Toolsエキスパートコース)

ITカレッジ

ITスペシャリスト科 (4年制)★
(システム/Web/ネットワーク/セキュリティ専攻)
情報学科
(プログラミング/Web/ネットワーク/
セキュリティ/パソコン/ビジネスコース)

テクノロジーカレッジ

ロボット科
電子・電気・CAD科
(電子工学/電気工学/電気工事/パソコン・ネット
ワーク/機械設計・CAD専攻)
建築設計科
建築デザイン研究科
インテリア・プロダクトデザイン科
バイオニクス科
(医薬バイオ/化粧品バイオ/食品バイオ/
環境バイオ専攻)

自動車カレッジ

自動車整備科
一級自動車整備科

医療カレッジ

鍼灸科
柔道整復科
医療情報科
(医療秘書/医療情報コース)

スポーツカレッジ

健康スポーツエキスパート科(3年制)★
(トータルスポーツトレーナー/パーソナルケアトレーナー/
幼補整復論・保育士/スポーツビジネスコース)
健康スポーツ科学科
(スポーツトレーナー/メディカルフィットネストレーナー/
フィットネス・ケア/スポーツインストラクター/
チャイルドインストラクター★/サッカー/テニスコース)

★2007年度新設



東京工科大学

メディア学部
エンターテインメント・メディア・コース
ビジネス・メディア・コース
ライフ・メディア・コース

バイオニクス学部

バイオテクノロジーコース
環境生物コース
生体食品・化粧品コース
臨床工学技士コース
バイオエレクトロニクス/ロボティクスコース

コンピュータサイエンス学部
ビジネス・サービスコース
システムデザインコース
コンピュータコース
ネットワークコース

東京工科大学大学院

バイオ・情報メディア研究科
バイオニクス専攻
メディアサイエンス専攻
コンピュータサイエンス専攻
アントレプレナー専攻



東京工科大学

〒192-0982 東京都八王子市片倉町1404-1
TEL.042-637-2111 (代表)
URL <http://www.teu.ac.jp/>



マルチメディア・コンピュータ・公務員系

マルチメディア科
(コンピュータゲーム/CG/デジタルデザイン/アニメーションコース)
情報処理科
行政学科

建設系

建築学科
土木工学科

エンジニアリング系

テクノロジ科
(ロボット/電気工学コース)
自動車工学科

医療系

しん灸科
柔道整復科
医療秘書科★

★2007年度新設



日本工学院北海道専門学校

〒059-8601 北海道登別市札内町184-3
TEL.0143-88-0888 (代表)
URL <http://www.neec.ac.jp/>